

3. 調査結果と その検証結果

3. 調査結果とその検証結果 ①試行調査方法・仕様

調査方法・仕様等は、以下のとおり。

	仕 様	設 定
調査方法	【配布】 電子メール 【回答・回収】 WEB 【実施条件】 クラス一斉実施	【配布】 ● 文部科学省様より都道府県教育委員会に対しアンケートの依頼をしていただき、都道府県教育委員会が学校を選定。 ● WEBアンケートのURL/QRコードを記載した調査依頼文書を作成し、弊社より電子メールにて配布。 【回答・回収】 ● 調査対象者は、説明資料に示されたURL・QRコードより、PCまたはタブレットなどにおいてWEBアンケート画面にアクセスし、回答を行う。 【実施条件】 ● 担任等の先生がいる状態で、教室等において一斉に実施。 ● 教科書やWEBサイトなど資料をみない状態での回答。 ● 回答時間は30分。
調査票	WEBアンケート	● WEB画面による回答様式作成とする。 ● 各画面の「次へ」タップで進み、「前へ」タップで戻る事が可能。 ● 回答完了後も、時間内であれば回答の変更が可能。

3. 調査結果とその検証結果 ②試行アンケート調査概要

試行調査概要は、以下のとおり。

調査内容・回収状況

調査名	対象数	対象者	有効回収数
児童アンケート	小学校10校（25クラス） 717名	小学校 6 年生	685件
生徒アンケート	中学校10校（47クラス） 1,505名	中学校 3 年生	1,283件
教員アンケート	72名（小学校25名・中学校47名）	アンケート実施クラスの担任教員	66件
学校アンケート	20校	管理職、または栄養教諭	20件

調査実施時期

令和7年9月16日(火)～10月10日(金)のどこか1日

調査方法

Webアンケート(eメールによる依頼状の配布)

3. 調査結果とその検証結果 ③児童アンケート調査結果（各設問）

児童アンケート調査結果(各設問)は、以下のとおり。

【児童アンケート】 回答率一覧(各設問) 1/5

観点	食育の視点	設問	正答	正答数	正答率
			選択肢	回答数	回答率
知識・技能	社会性	1. 次の写真を見て、はしの持ち方として正しいものを選んでください。	①1	1	0.15%
			②2	458	66.86%
			③3	1	0.15%
			④4	222	32.41%
			無回答	3	0.44%
知識・技能	心身の健康	2. 次の中で「主にエネルギーのもとになる」、「主に体を作るもとになる」、「主に体の調子を整えるもとになる」食材が、すべてそろっているものを選んでください。	①ご飯、肉、じゃがいも	228	33.28%
			②たまご、牛乳、だいず	106	15.47%
			③パン、ハム、レタス	108	15.77%
			④ご飯、魚、ひじき	239	34.89%
			無回答	4	0.58%
知識・技能	心身の健康	3. 次の中から、五大栄養素に含まれないものを選んでください。	①脂質	61	8.91%
			②水	501	73.14%
			③無機質	99	14.45%
			④ビタミン	20	2.92%
			無回答	4	0.58%
知識・技能	心身の健康	4. 次の中から、タンパク質を多く含む食品を選んでください。	①ブロッコリー	35	5.11%
			②肉・魚	507	74.01%
			③果物	26	3.80%
			④米	114	16.64%
			無回答	3	0.44%
知識・技能	心身の健康	5. 次の中から、タンパク質の働きについて正しいものを選んでください。	①主に体の調子を整える	75	10.95%
			②主にエネルギーになる	174	25.40%
			③筋肉などの体を作る	348	50.80%
			④骨や歯などの体を作る	87	12.70%
			無回答	1	0.15%

3. 調査結果とその検証結果 ③児童アンケート調査結果（各設問）

【児童アンケート】 回答率一覧(各設問) 2/5

観点	食育の視点	設問	正答 選択肢	正答数 回答数	正答率 回答率
知識・技能	心身の健康	6. 次のイラストの中から、主食を選んでください。	①ハンバーグ	271	39.56%
			②シチュー	24	3.50%
			③みそしる	24	3.50%
			④ごはん	362	52.85%
			無回答	4	0.58%
知識・技能	心身の健康	7. 口の中の病気を予防するためには、どのような食事の仕方がいいですか。次の中から、最も適切なものを選んでください。	①なるべく急いでご飯を食べる	11	1.61%
			②水をたくさん飲む	50	7.30%
			③たんぱく質や糖분을、たくさんとる	115	16.79%
			④だらだらとおやつを食べ続けない	507	74.01%
			無回答	2	0.29%
知識・技能	食品選択	8. 次の中から、食品ロスの説明として正しいものを選んでください。	①食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる	634	92.55%
			②食べ物がなくなってしまう	19	2.77%
			③自分の国で作られている食べ物が足りない	13	1.90%
			④食べたいと思う食べ物がいない	16	2.34%
			無回答	3	0.44%
思考・判断・表現	食品選択	9. 次の中から、食品ロスに対する取組について正しくないものを選んでください。	①好き嫌いせずに残さず食べる	58	8.47%
			②まだ開けていないスナック菓子が賞味期限がギリギリだったので、仕方なく捨てた	547	79.85%
			③買い物に出かける前に、冷蔵庫の中に何があるか確認した	28	4.09%
			④コンビニで、消費期限の近いおにぎりを選んで買った	48	7.01%
			無回答	4	0.58%
知識・技能	食品選択	10. 次の中から、必ず冷蔵庫に保存すべきものを選んでください。	①干しシイタケ	38	5.55%
			②卵	562	82.04%
			③ジャガイモ	55	8.03%
			④米	26	3.80%
			無回答	4	0.58%

3. 調査結果とその検証結果 ③児童アンケート調査結果（各設問）

【児童アンケート】 回答率一覧（各設問） 3/5

観点	食育の視点	設問	正答 選択肢	正答数 回答数	正答率 回答率
思考・判断・ 表現	食品選択	1 1. 給食を食べる前の手洗いの動作について、次のA～Dの正しい順番を、1 番め～4 番めで答えてください。	完全正解	616	89.93%
			不正解	37	5.40%
			無回答	32	4.67%
		1 番め	A.よく洗う	29	4.23%
			B.ハンカチでふく	6	0.88%
			C.手に水をかけて、石けんをつける	636	92.85%
			D.石けんをよく洗い流す	5	0.73%
			無回答	9	1.31%
			合計	685	100.00%
		2 番め	A.よく洗う（正解）	630	91.97%
			B.ハンカチでふく	12	1.75%
			C.手に水をかけて、石けんをつける	16	2.34%
			D.石けんをよく洗い流す	8	1.17%
			無回答	19	2.77%
			合計	685	100.00%
		3 番め	A.よく洗う	8	1.17%
			B.ハンカチでふく	10	1.46%
			C.手に水をかけて、石けんをつける	13	1.90%
			D.石けんをよく洗い流す（正解）	632	92.26%
			無回答	22	3.21%
			合計	685	100.00%
		4 番め	A.よく洗う	1	0.15%
			B.ハンカチでふく（正解）	639	93.28%
			C.手に水をかけて、石けんをつける	6	0.88%
			D.石けんをよく洗い流す	16	2.34%
			無回答	23	3.36%
			合計	685	100.00%

3. 調査結果とその検証結果 ③児童アンケート調査結果（各設問）

【児童アンケート】 回答率一覧（各設問） 4/5

観点	食育の視点	設問	正答 選択肢	正答数 回答数	正答率 回答率
思考・判断・表現	食事の重要性	1 2. 朝ごはんをしっかりと食べるために気をつけることとして、次の中から正しくないものを選んでください。	①朝早く起きるために夜ふかしをしない	76	11.09%
			②バランスよく栄養素を摂取するため、ご飯とおみそしるなど2種類以上のものを食べる	76	11.09%
			③すいみん時間をしっかりとるために、なるべく遅く起きる	450	65.69%
			④消化が悪く朝の食欲が落ちるため、夕ごはんを夜おそくに食べない	79	11.53%
			無回答	4	0.58%
知識・技能	食文化	1 3. 次の中から、日本の食事に欠かせない大豆から作られている調味料を選んでください。	①しょうゆ	548	80.00%
			②塩	40	5.84%
			③こしょう	47	6.86%
			④ソース	47	6.86%
			無回答	3	0.44%
知識・技能	食文化	1 4. 次の中から、3月3日の「桃の節句」（ひな祭り）に食べる風習のないものを選んでください。	①ひなあられ	58	8.47%
			②七草がゆ	264	38.54%
			③はまぐりのうしおじる	299	43.65%
			④ちらしずし	62	9.05%
			無回答	2	0.29%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	感謝の心	1 5. あなたは、いつも食事の前に「いただきます」を言うようにしていますか？	①している	544	79.42%
			②どちらかといえば、している	100	14.60%
			③あまりしていない	24	3.50%
			④全くしていない	9	1.31%
			無回答	8	1.17%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	心身の健康	1 6. あなたは、量を決めておやつを食べるようにしていますか？	①している	272	39.71%
			②どちらかといえば、している	210	30.66%
			③あまりしていない	136	19.85%
			④全くしていない	58	8.47%
			無回答	9	1.31%

3. 調査結果とその検証結果 ③児童アンケート調査結果（各設問）

【児童アンケート】 回答率一覧(各設問) 5/5

観点	食育の視点	設問	正答 選択肢	正答数 回答数	正答率 回答率
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	食事の重要性	17. あなたは平日、毎日、朝ご飯を食べるようにしていますか？	①毎日（5日）食べるようにしている	562	82.04%
			②3～4日は食べるようにしている	63	9.20%
			③1～2日は食べるようにしている	39	5.69%
			④していない	12	1.75%
			無回答	9	1.31%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	心身の健康	18. ふだんの食事では、エネルギーのもとになる食品（お米や油など）、体を作るもとになる食品（魚や肉など）、体の調子を整えるもとになる食品（野菜や果物など）を、バランスよく食べようとしていますか。	①している	309	45.11%
			②どちらかといえば、している	268	39.12%
			③あまりしていない	84	12.26%
			④全くしていない	16	2.34%
			無回答	8	1.17%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	食品選択	19. 食事の前には、手洗いをするようにしていますか。	①している	380	55.47%
			②どちらかといえば、している	196	28.61%
			③あまりしていない	76	11.09%
			④全くしていない	25	3.65%
			無回答	8	1.17%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	社会性	20. 食事の時には、口に食べ物を入れたまま話をしてないようにしていますか。	①している	302	44.09%
			②どちらかといえば、している	250	36.50%
			③あまりしていない	103	15.04%
			④全くしていない	22	3.21%
			無回答	8	1.17%

3. 調査結果とその検証結果 ④児童アンケート評価マトリクス（設問別）

児童アンケート調査10校平均正答率を、【食に関する指導の目標 3観点】×【食育の視点 6つ】の評価マトリクス表にまとめた。

設問別一覧は以下のとおり。

児童アンケート 評価マトリクス表（正答率 設問別）

食育の視点 観点	食事の重要性	心身の健康	食品を選択する能力	感謝の心	社会性	食文化
	問NO. 正答率	問NO. 正答率	問NO. 正答率	問NO. 正答率	問NO. 正答率	問NO. 正答率
知識・技能		2 15.77%	8 92.55%		1 66.86%	13 80.00%
		3 73.14%	10 82.04%			14 38.54%
		4 74.01%				
		5 50.80%				
		6 52.85%				
		7 74.01%				
思考・判断 ・表現	12 65.69%		9 79.85%			
			11 89.93%			
「主体的に学習に 取り組む態度」と 関連した評価	17 82.04%	16 39.71%	19 55.47%	15 79.42%	20 44.09%	
		18 45.11%				

3. 調査結果とその検証結果 ④児童アンケート評価マトリクス（総合）

評価マトリクス表(総合)は以下のとおり。

児童アンケート 評価マトリクス表（総合）

	食育の視点	食事の重要性	心身の健康	食品を選択する能力	感謝の心	社会性	食文化
観点	正答率 平均値（計）	73.87%	49.59%	75.89%	79.42%	55.47%	59.27%
知識・技能	67.55%		56.76%	87.30%		66.86%	59.27%
思考・判断・表現	75.29%	65.69%		84.89%			
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	60.69%	82.04%	42.41%	55.47%	79.42%	44.09%	

3. 調査結果とその検証結果 ⑤生徒アンケート調査結果（各設問）

生徒アンケート調査結果(各設問)は、以下のとおり。

【生徒アンケート】 回答率一覧(各設問) 1/4

観点	食育の視点	設問	正答 選択肢	正答数 回答数	正答率 回答率
知識・技能	社会性	1. 次の選択肢の中から、配ぜんの仕方として正しいものを選んでください。	①1	1067	83.16%
			②2	128	9.98%
			③3	41	3.20%
			④4	42	3.27%
			無回答	5	0.39%
知識・技能	心身の健康	2. 栄養素には、体にたくさん蓄えることができないものもあります。それらをきちんと取るようにするには、どうしたらよいですか。次の選択肢の中から、正しいものを選んでください。	①定期的に食べる	1106	86.20%
			②毎食、多めに食事をする	103	8.03%
			③蓄えられない栄養素のサプリを毎日飲む	59	4.60%
			④食材を生そのまま食べる	11	0.86%
			無回答	4	0.31%
知識・技能	心身の健康	3. 私たちは、体内における化学反応によって、生きるための主な原動力であるエネルギーを得ています。エネルギーが不足すると体や心に現れる影響として、次の選択肢の中から誤っているものを選んでください。	①免疫、消化器系、心臓・血管の機能低下	300	23.38%
			②気持ちが落ち着き、精神的に安定する	792	61.73%
			③発育期には、成長や発育に影響	135	10.52%
			④女性は無月経や初経の時期が遅れる	51	3.98%
			無回答	5	0.39%
知識・技能	心身の健康	4. 次の選択肢の中から、水分補給のタイミングとして誤っているものを選んでください。	①のどが乾いたら補給	752	58.61%
			②のどが乾かないように、定期的に補給	396	30.87%
			③運動中やその前後	40	3.12%
			④寝る前や起きた時、入浴の前後	82	6.39%
			無回答	13	1.01%
知識・技能	心身の健康	5. 次のイラストの中から、主食を選んでください。	①ハンバーグ	557	43.41%
			②シチュー	28	2.18%
			③みそしる	40	3.12%
			④ラーメン	655	51.05%
			無回答	3	0.23%

3. 調査結果とその検証結果 ⑤生徒アンケート調査結果（各設問）

【生徒アンケート】 回答率一覧(各設問) 2/4

観点	食育の視点	設問	正答 選択肢	正答数 回答数	正答率 回答率
思考・判断・表現	心身の健康	6. Aさんは、3つの食品群を参考に朝食のメニューを作成することにしました。次の3日間、朝食の内容を見て、バランスの良い食事にするにはそれぞれどんなメニューを追加すればよいか、①～④の組み合わせの中から選んでください。	①1日目：ソーセージ 2日目：れんこんのきんぴら 3日目：ヨーグルト	115	8.96%
			②1日目：チーズ 2日目：キノコのソテー 3日目：ゆで卵	38	2.96%
			③1日目：野菜スープ 2日目：卵焼き 3日目：ほうれんそうのおひたし	529	41.23%
			④1日目：トマトサラダ 2日目：焼魚 3日目：卵焼き	597	46.53%
			無回答	4	0.31%
思考・判断・表現	心身の健康	7. Bさんは夕食のとり方について考えています。Bさんは夜遅くまで塾に通っているの、自宅に帰ったあと眠くなってしまい、食事をとらずに就寝する日もありました。体重が減ってしまったので、できるだけ自分のライフスタイルに合わせながら十分なエネルギーがとれる食事方法を考えています。Bさんのライフスタイルに合わせた工夫として、適切なものはどれですか。次の選択肢の中から選んでください。	①夕食を分割して食べるため、塾の前に夕食の一部を間食しておき、塾から帰った後に残りを食べる。	1104	86.05%
			②十分なエネルギーをとりたいので、塾の後に睡眠時間を削って夕食を食べる	84	6.55%
			③1日に必要な食事量をとりたいので、夕食をとらずに朝食と昼食を1.5倍食べる	71	5.53%
			④十分なエネルギーをとりたいので、塾の前にお菓子をたくさん食べる	16	1.25%
			無回答	8	0.62%
知識・技能	心身の健康	8. 筋肉を増やすために重要なことについて、次の選択肢の中から正しいものを選んでください。	①毎日、高い強度のトレーニングを長時間行う	208	16.21%
			②たんぱく質だけをたくさん摂取する	161	12.55%
			③適度な睡眠をとる	583	45.44%
			④たくさん食べて体を大きくする	323	25.18%
			無回答	8	0.62%
知識・技能	食品選択	9. 次の選択肢の中から、肉を調理して食べる際の心がけとして正しいものを選んでください。	①洗い物を減らすため、生肉をつまむはしと焼いたお肉をつまむはしは、同じものを使う	59	4.60%
			②生肉を切る包丁と、野菜を切る包丁は分ける	1140	88.85%
			③焼いて調理した肉と野菜は、同じ皿には配ぜんしない	47	3.66%
			④豚肉はよく焼いて食べるが、牛肉や鶏肉はよく焼かないで食べてもいい	27	2.10%
			無回答	10	0.78%
知識・技能	食品選択	10. 次の選択肢の中から、食品ロスの説明として正しいものを選んでください。	①食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる	1202	93.69%
			②食べ物がなくなってしまう	43	3.35%
			③自分の国で作られている食べ物が足りない	24	1.87%
			④食べたいと思う食べ物がいない	9	0.70%
			無回答	5	0.39%

3. 調査結果とその検証結果 ⑤生徒アンケート調査結果（各設問）

【生徒アンケート】 回答率一覧(各設問) 3/4

観点	食育の視点	設問	正答 選択肢	正答数 回答数	正答率 回答率
知識・技能	食事の重要性	1 1. サプリメントの使用法について、次の選択肢の中から誤っているものを選んでください。	①高い効果が期待できるので、食事に必要な栄養素を摂取できていても、サプリメントを使ってよい	506	39.44%
			②サプリメントを使う場合は自己判断せず、栄養教諭の先生に相談する	246	19.17%
			③食事だけでは必要な量の栄養素を摂取できない時に、足りない分を補うために使う	321	25.02%
			④胃腸が弱っていて、消化や吸収の機能が低下しているときに利用する	203	15.82%
			無回答	7	0.55%
思考・判断・表現	食事の重要性	1 2. Cさんは、ダイエットのために朝食を抜くことにしました。今後、Cさんの体に起こりうることを次の選択肢の中から選んでください。	①睡眠でエネルギーが蓄えられていたので、活発に動けた	68	5.30%
			②排便リズムがくずれ、便秘になりやすくなった	686	53.47%
			③アミノ酸が体内に作られ、良質な睡眠をとれるようになった	30	2.34%
			④体温が上昇し、午前中に充実した活動ができなかった	492	38.35%
			無回答	7	0.55%
知識・技能	食文化	1 3. 次の説明文の中で、誤っているものを選んでください。	①世界には、国によって多様な食文化がある	76	5.92%
			②日本には、国が定めた郷土料理・行事食がある	720	56.12%
			③世界には、宗教によって食べられない食品がある人がいる	102	7.95%
			④ベジタリアンなど、個人の考えによって食べる食品を選択する人がいる	357	27.83%
			無回答	28	2.18%
知識・技能	食文化	1 4. 以下の写真の料理に関係する行事を、選択肢の中から選んでください。	①正月	71	5.53%
			②土用の丑の日	135	10.52%
			③端午の節句	253	19.72%
			④冬至	816	63.60%
			無回答	8	0.62%
知識・技能	食文化	1 5. 世界全体で見ると、13億トンの食料が毎年捨てられています。これは、世界全体の食料生産量のどのくらいにあたるでしょうか。次の選択肢の中から選んでください。	①1/10	141	10.99%
			②1/5	466	36.32%
			③1/3	575	44.82%
			④1/2	96	7.48%
			無回答	5	0.39%

3. 調査結果とその検証結果 ⑤生徒アンケート調査結果（各設問）

【生徒アンケート】 回答率一覧(各設問) 4/4

観点	食育の視点	設問	正答	正答数	正答率
			選択肢	回答数	回答率
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	感謝の心	16. あなたは、いつも食事の前に「いただきます」を言うようにしていますか？	①している	1029	80.20%
			②どちらかといえば、している	178	13.87%
			③あまりしていない	44	3.43%
			④全くしていない	6	0.47%
			無回答	26	2.03%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	心身の健康	17. あなたは自分に必要な食事量を考えて食事をしようとしていますか？	①している	667	51.99%
			②どちらかといえば、している	392	30.55%
			③あまりしていない	170	13.25%
			④全くしていない	26	2.03%
			無回答	28	2.18%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	食事の重要性	18. あなたは平日、毎日、朝ご飯を食べるようにしていますか？	①毎日（5日）食べるようにしている	1002	78.10%
			②3～4日は食べるようにしている	128	9.98%
			③1～2日は食べるようにしている	76	5.92%
			④していない	51	3.98%
			無回答	26	2.03%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	心身の健康	19. ふだんの食事では、エネルギーのもとになる食品（お米や油など）、体を作るもとになる食品（魚や肉など）、体の調子を整えるもとになる食品（野菜や果物など）を、バランスよく食べようとしていますか。	①している	654	50.97%
			②どちらかといえば、している	456	35.54%
			③あまりしていない	136	10.60%
			④全くしていない	11	0.86%
			無回答	26	2.03%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	食品選択	20. 食事の前には、手洗いをするようにしていますか。	①している	735	57.29%
			②どちらかといえば、している	355	27.67%
			③あまりしていない	138	10.76%
			④全くしていない	26	2.03%
			無回答	29	2.26%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	社会性	21. 食事の時には、口に食べ物を入れたまま話をしないようにしていますか。	①している	778	60.64%
			②どちらかといえば、している	374	29.15%
			③あまりしていない	79	6.16%
			④全くしていない	28	2.18%
			無回答	24	1.87%

3. 調査結果とその検証結果 ⑥生徒アンケート評価マトリクス（設問別）

生徒アンケート調査10校平均正答率を、【食に関する指導の目標 3観点】×【食育の視点 6つ】の評価マトリクス表にまとめた。

設問別一覧は以下のとおり。

生徒アンケート 評価マトリクス表（正答率 設問別）

食育の視点 観点	食事の重要性		心身の健康		食品を選択する能力		感謝の心		社会性		食文化	
	問NO.	正答率	問NO.	正答率	問NO.	正答率	問NO.	正答率	問NO.	正答率	問NO.	正答率
知識・技能	11	39.44%	2	86.20%	9	88.85%			1	83.16%	13	56.12%
			3	61.73%	10	93.69%					14	63.60%
			4	58.61%							15	44.82%
			5	51.05%								
			8	45.44%								
思考・判断 ・表現	12	53.47%	6	41.23%								
			7	86.05%								
「主体的に学習に 取り組む態度」と 関連した評価	18	78.10%	17	51.99%	20	57.29%	16	80.20%	21	60.64%		
			19	50.97%								

3. 調査結果とその検証結果 ⑥生徒アンケート評価マトリクス（総合）

評価マトリクス表(総合)は以下のとおり。

生徒アンケート 評価マトリクス表（総合）

	食育の視点	食事の重要性	心身の健康	食品を選択する能力	感謝の心	社会性	食文化
観点	正答率 平均値（計）	57.00%	58.58%	74.28%	80.20%	71.90%	54.85%
知識・技能	65.87%	39.44%	60.61%	91.27%		83.16%	54.85%
思考・判断・表現	58.55%	53.47%	63.64%				
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	65.54%	78.10%	51.48%	57.29%	80.20%	60.64%	

3. 調査結果とその検証結果 ⑦教員アンケート調査結果

教員アンケート調査結果は、以下のとおり。

【教員アンケート集計】(小学校) 1/3

1. 児童・生徒がアンケートを実施した日時をご記入ください。[実施日時] [月] (数値)

最大	10
最小	9
回答件数	23

2. 児童・生徒がアンケートを実施した日時をご記入ください。[実施日時] [日] (数値)

最大	30
最小	1
回答件数	23

3. 何分ほどで全児童・生徒の回答が完了したかご記入ください。(アンケート所要時間は、30分を目安としております) ※半角数字でご回答ください。所用時間 ●●分程度 (数値)

合計	331
平均	14.39
最大	20
最小	1
回答件数	23

4. 児童・生徒から、アンケートに関する質問はありましたか。質問があった場合、具体的な質問内容をご記入ください。

1. はい	3 (13.0%)
2. いいえ	20 (87.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	23 (100.0%)

【教員アンケート集計】(小学校) 2/3

- 6-1. あなたは、今年度、食に関する指導を実施しましたか。

1. 実施した	14 (60.9%)
2. 今後、実施する予定	3 (13.0%)
3. 実施しておらず、する予定もない	6 (26.1%)
無回答	0 (0.0%)
合計	23 (100.0%)

- 6-2. あなたは、食に関する指導を実施した(実施する予定の)教科・活動等は何ですか。
(あてはまるもの全て)

1. 社会	1 (4.3%)
2. 理科	0 (0.0%)
3. 生活	0 (0.0%)
4. 家庭、技術・家庭	12 (52.2%)
5. 体育、保健体育	1 (4.3%)
6. 道徳	5 (21.7%)
7. 総合的な学習の時間	2 (8.7%)
8. 給食、昼食の時間	10 (43.5%)
9. 学級活動、特別活動	2 (8.7%)
10. その他	0 (0.0%)
無回答	6 (26.1%)
回答件数	23 (1.70)

3. 調査結果とその検証結果 ⑦教員アンケート調査結果

【教員アンケート集計】(小学校) 3/3

7. あなたは、文部科学省が発行している食育用教材（小学生用食育教材「たのしい食事つながる食育」（平成28年2月）、中学生用食育教材（令和3年3月））を活用したことはありますか。（あてはまるもの全て）

1.教科等の授業で活用した（総合的な学習の時間や特別活動含む）	2 (8.7%)
2.給食時間（昼食時間）で活用した	0 (0.0%)
3.1.2以外の活動で活用した	0 (0.0%)
4.活用していない	8 (34.8%)
5.わからない	7 (30.4%)
無回答	6 (26.1%)
回答件数	23 (1.00)

8. あなたは、給食時間（昼食時間）やその他の時間（授業以外）に児童生徒に「食」に関する話をしたり、声かけをしたりしていますか。

1.よくしている	3 (13.0%)
2.どちらかというとしている	15 (65.2%)
3.どちらかというとしていない	4 (17.4%)
4.していない	1 (4.3%)
無回答	0 (0.0%)
合計	23 (100.0%)

9. 食育を推進する上で課題とを感じるものはありますか。（あてはまるもの全て）

1.学校の教育活動全体の中で食育に充てる時間がとれない	12 (52.2%)
2.他の業務で忙しい（食育について考える時間がない）	7 (30.4%)
3.相談をする相手がいない	1 (4.3%)
4.何をしたらいいのかわからない	7 (30.4%)
5.保護者や家庭との連携が難しい	10 (43.5%)
6.特にない	1 (4.3%)
7.その他	1 (4.3%)
無回答	0 (0.0%)
回答件数	23 (1.70)

【教員アンケート集計】(中学校) 1/3

1. 児童・生徒がアンケートを実施した日時をご記入ください。[実施日時] [月] (数値)

最大	10
最小	9
回答件数	45

2. 児童・生徒がアンケートを実施した日時をご記入ください。[実施日時] [日] (数値)

最大	30
最小	2
回答件数	45

3. 何分ほどで全児童・生徒の回答が完了したかご記入ください。（アンケート所要時間は、30分を目安としております） ※半角数字でご回答ください。所用時間 ●●分程度 (数値)

合計	782
平均	17
最大	30
最小	10
回答件数	46

4. 児童・生徒から、アンケートに関する質問はありましたか。質問があった場合、具体的な質問内容をご記入ください。

1. はい	2 (4.3%)
2. いいえ	44 (95.7%)
無回答	0 (0.0%)
合計	46 (100.0%)

3. 調査結果とその検証結果 ⑦教員アンケート調査結果

【教員アンケート集計】(中学校) 2/3

6-1. あなたは、今年度、食に関する指導を実施しましたか。

1. 実施した	22 (47.8%)
2. 今後、実施する予定	9 (19.6%)
3. 実施しておらず、する予定もない	15 (32.6%)
無回答	0 (0.0%)
合計	46 (100.0%)

6-2. あなたは、食に関する指導を実施した（実施する予定の）教科・活動等は何ですか。
（あてはまるもの全て）

1. 道徳	5 (10.9%)
2. 総合的な学習の時間	3 (6.5%)
3. 給食、昼食の時間	27 (58.7%)
4. 学級活動、特別活動	12 (26.1%)
5. その他	2 (4.3%)
無回答	15 (32.6%)
回答件数	46 (1.39)

7. あなたは、文部科学省が発行している食育用教材（小学生用食育教材「たのしい食事つながる食育」（平成28年2月）、中学生用食育教材（令和3年3月））を活用したことはありますか。
（あてはまるもの全て）

1. 教科等の授業で活用した（総合的な学習の時間や特別活動含む）	0 (0.0%)
2. 給食時間（昼食時間）で活用した	1 (2.2%)
3. 1.2以外の活動で活用した	0 (0.0%)
4. 活用していない	20 (43.5%)
5. わからない	10 (21.7%)
無回答	15 (32.6%)
回答件数	46 (1.00)

【教員アンケート集計】(中学校) 3/3

8. あなたは、給食時間（昼食時間）やその他の時間（授業以外）に児童生徒に「食」に関する話をしたり、声かけをしたりしていますか。

1. よくしている	13 (28.3%)
2. どちらかというとしている	20 (43.5%)
3. どちらかというとしていない	12 (26.1%)
4. していない	1 (2.2%)
無回答	0 (0.0%)
合計	46 (100.0%)

9. 食育を推進する上で課題とを感じるものはありますか。（あてはまるもの全て）

1. 学校の教育活動全体の中で食育に充てる時間がとれない	18 (39.1%)
2. 他の業務で忙しい（食育について考える時間がない）	19 (41.3%)
3. 相談をする相手がいない	1 (2.2%)
4. 何をしたらいいのかわからない	9 (19.6%)
5. 保護者や家庭との連携が難しい	15 (32.6%)
6. 特になし	6 (13.0%)
7. その他	3 (6.5%)
無回答	0 (0.0%)
回答件数	46 (1.54)

3. 調査結果とその検証結果 ⑧学校アンケート調査結果

学校アンケート調査結果は、以下のとおり。

【学校アンケート集計】(小学校) 1/6

2. 児童生徒の人数をご記入ください。(令和7年5月1日現在の全児童生徒数)

※半角数字でご回答ください。(数値)

合計	4041
平均	404.1
最大	508
最小	282
回答件数	10

3. 学級数をご記入ください。(令和7年5月1日現在の全児童生徒数)

※半角数字でご回答ください。[全学級数](数値)

合計	191
平均	19.1
最大	25
最小	15
回答件数	10

3. 学級数をご記入ください。(令和7年5月1日現在の全児童生徒数)

※半角数字でご回答ください。[うち特別支援学級数](数値)

合計	56
平均	5.6
最大	12
最小	2
回答件数	10

4. 学校給食の方式をお答えください。

1. 自校方式	7 (70.0%)
2. センター方式	3 (30.0%)
3. 学校給食はない	0 (0.0%)
4. その他	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	10 (100.0%)

【学校アンケート集計】(小学校) 2/6

5-1. あなたの学校には、栄養教諭、または学校栄養職員は配置されていますか。

1. 本務校として栄養教諭が配置されている	5 (50.0%)
2. 本務校として学校栄養職員が配置されている	0 (0.0%)
3. 本務校以外の兼務校または担当校として栄養教諭が配置されている	5 (50.0%)
4. 本務校以外の兼務校または担当校として学校栄養職員が配置されている	0 (0.0%)
5. 配置されていない	0 (0.0%)
6. その他(具体的に記入ください)	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	10 (100.0%)

5-2. あなたの学校には、栄養教諭または学校栄養職員は月何日程度、来ますか(来ない場合は0を入力)。 ※半角数字でご回答ください。月●●日程度(数値)

合計	9
平均	1.8
最大	4
最小	0
回答件数	5

6. 貴校では、食に関する指導を実施していますか。

1. 実施している	10 (100.0%)
2. 実施していない	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	10 (100.0%)

3. 調査結果とその検証結果 ⑧学校アンケート調査結果

【学校アンケート集計】(小学校) 3/6

7-1. 貴校では、食育（食に関する指導）を推進する組織等を設置していますか。

1. 設置している	9 (90.0%)
2. 設置していない	1 (10.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	10 (100.0%)

7-2. 貴校では、食育（食に関する指導）を推進する担当者を設置していますか。

1. 設置している	10 (100.0%)
2. 設置していない	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	10 (100.0%)

8. 小学校6年生に対する食に関する指導は、年間でどの程度行われていますか。

※半角数字でご回答ください。[各教科等 ●●時間] (数値)

合計	72
平均	7.2
最大	13
最小	2
回答件数	10

8. 小学校6年生に対する食に関する指導は、年間でどの程度行われていますか。

※半角数字でご回答ください。[給食時間 ●●回] (数値)

合計	623
平均	62.3
最大	190
最小	0
回答件数	10

【学校アンケート集計】(小学校) 4/6

9. 貴校では、食に関する指導は、どの場面で行っていますか。（あてはまるもの全て）

1. 社会の授業	5 (50.0%)
2. 理科の授業	1 (10.0%)
3. 生活の授業	3 (30.0%)
4. 家庭、技術・家庭の授業	9 (90.0%)
5. 体育、保健体育の授業	5 (50.0%)
6. 道徳の授業	1 (10.0%)
7. 総合的な学習の時間	5 (50.0%)
8. 給食、昼食の時間	9 (90.0%)
9. 学級活動	8 (80.0%)
10. 特別活動	2 (20.0%)
11. その他	2 (20.0%)
無回答	0 (0.0%)
回答件数	10 (5.00)

10-1. 貴校では、食に関する指導として、どのような内容を取り扱っていますか。

（あてはまるもの全て）

1. 食の重要性（朝食の大切さ等）	10 (100.0%)
2. 心身の健康（栄養素、栄養バランス、体づくり等）	10 (100.0%)
3. 食品を選択する能力（食品衛生、食品ロス）	9 (90.0%)
4. 感謝の心	9 (90.0%)
5. 社会性（食事マナー等）	9 (90.0%)
6. 食文化（日本・世界の食文化、行事食）	8 (80.0%)
7. 地場産品、地産地消	7 (70.0%)
8. その他	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)
回答件数	10 (6.20)

3. 調査結果とその検証結果 ⑧学校アンケート調査結果

【学校アンケート集計】(小学校) 5/6

- 1 1. 学校において食育（食に関する指導）を実施する場合に文部科学省が発行している食育用教材（小学生用食育協材「たのしい食事つながる食育」（平成28年2月）、中学生用食育教材（令和3年3月））の活用に取り組んでいますか。

1. 取り組んでいる	4 (40.0%)
2. 取り組んでいない	5 (50.0%)
無回答	1 (10.0%)
合計	10 (100.0%)

- 1 2 - 1. 貴校では、栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導を行っていますか。

1. 栄養教諭が実施している	10 (100.0%)
2. 学校栄養職員が実施している	1 (10.0%)
3. 実施していない	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)
回答件数	10 (1.10)

- 1 2 - 2. 貴校では、栄養教諭または学校栄養職員による食に関する指導は、いつ行っていますか。
（あてはまるもの全て）

1. 社会の授業	2 (20.0%)
2. 理科の授業	0 (0.0%)
3. 生活の授業	0 (0.0%)
4. 家庭、技術・家庭の授業	4 (40.0%)
5. 体育、保健体育の授業	1 (10.0%)
6. 道徳の授業	1 (10.0%)
7. 総合的な学習の時間	2 (20.0%)
8. 給食、昼食の時間	7 (70.0%)
9. 学級活動	8 (80.0%)
10. 特別活動	2 (20.0%)
11. その他	1 (10.0%)
無回答	0 (0.0%)
回答件数	10 (2.80)

【学校アンケート集計】(小学校) 6/6

- 1 3. 貴校では、保護者に対して、食に関する指導や食育に関する情報発信を行っていますか。

1. 月1回以上行っている	6 (60.0%)
2. 2～3カ月に1回程度行っている	0 (0.0%)
3. 学期に1回程度行っている	1 (10.0%)
4. 年に1回程度行っている	3 (30.0%)
5. 行っていない	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	10 (100.0%)

- 1 4. 食育を推進する上で課題と感じるものはありますか。（あてはまるもの全て）

1. 学校の教育活動全体の中で食育に充てる時間がとれない	6 (60.0%)
2. 他の業務で忙しい	5 (50.0%)
3. 教職員の食育に対する意識が低い	3 (30.0%)
4. 食育をけん引できる人がいない	2 (20.0%)
5. 何をしたらいいのかわからない	0 (0.0%)
6. 保護者や家庭との連携が難しい	4 (40.0%)
7. 特にない	0 (0.0%)
8. その他	3 (30.0%)
無回答	0 (0.0%)
回答件数	10 (2.30)

3. 調査結果とその検証結果 ⑧学校アンケート調査結果

【学校アンケート集計】(中学校) 1/6

2. 児童生徒の人数をご記入ください。(令和7年5月1日現在の全児童生徒数)

※半角数字でご回答ください。(数値)

合計	4520
平均	452
最大	657
最小	248
回答件数	10

3. 学級数をご記入ください。(令和7年5月1日現在の全児童生徒数)

※半角数字でご回答ください。[全学級数](数値)

合計	168
平均	16.8
最大	27
最小	11
回答件数	10

3. 学級数をご記入ください。(令和7年5月1日現在の全児童生徒数)

※半角数字でご回答ください。[うち特別支援学級数](数値)

合計	39
平均	3.9
最大	9
最小	2
回答件数	10

4. 学校給食の方式をお答えください。

1. 自校方式	5 (50.0%)
2. センター方式	5 (50.0%)
3. 学校給食はない	0 (0.0%)
4. その他	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	10 (100.0%)

【学校アンケート集計】(中学校) 2/6

5-1. あなたの学校には、栄養教諭、または学校栄養職員は配置されていますか。

1. 本務校として栄養教諭が配置されている	5 (50.0%)
2. 本務校として学校栄養職員が配置されている	1 (10.0%)
3. 本務校以外の兼務校または担当校として栄養教諭が配置されている	2 (20.0%)
4. 本務校以外の兼務校または担当校として学校栄養職員が配置されている	0 (0.0%)
5. 配置されていない	1 (10.0%)
6. その他(具体的に記入ください)	1 (10.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	10 (100.0%)

5-2. あなたの学校には、栄養教諭または学校栄養職員は月何日程度、来ますか(来ない場合は0を入力)。※半角数字でご回答ください。月●●日程度(数値)

合計	0
平均	0
最大	0
最小	0
回答件数	4

6. 貴校では、食に関する指導を実施していますか。

1. 実施している	9 (90.0%)
2. 実施していない	1 (10.0%)
無回答	0 (0.0%)
合計	10 (100.0%)

3. 調査結果とその検証結果 ⑧学校アンケート調査結果

【学校アンケート集計】(中学校) 3/6

7-1. 貴校では、食育（食に関する指導）を推進する組織等を設置していますか。

1. 設置している	7 (70.0%)
2. 設置していない	2 (20.0%)
無回答	1 (10.0%)
合計	10 (100.0%)

7-2. 貴校では、食育（食に関する指導）を推進する担当者を設置していますか。

1. 設置している	9 (90.0%)
2. 設置していない	0 (0.0%)
無回答	1 (10.0%)
合計	10 (100.0%)

8. 中学校3年生に対する食に関する指導は、年間でどの程度行われていますか。

※半角数字でご回答ください。[各教科等 ●●時間] (数値)

合計	68
平均	7.556
最大	15
最小	0
回答件数	9

8. 中学校3年生に対する食に関する指導は、年間でどの程度行われていますか。

※半角数字でご回答ください。[給食時間 ●●回] (数値)

合計	453
平均	50.33
最大	180
最小	0
回答件数	9

【学校アンケート集計】(中学校) 4/6

9. 貴校では、食に関する指導は、どの場面で行っていますか。（あてはまるもの全て）

1. 社会の授業	3 (30.0%)
2. 理科の授業	3 (30.0%)
3. 生活の授業	0 (0.0%)
4. 家庭、技術・家庭の授業	9 (90.0%)
5. 体育、保健体育の授業	6 (60.0%)
6. 道徳の授業	3 (30.0%)
7. 総合的な学習の時間	2 (20.0%)
8. 給食、昼食の時間	7 (70.0%)
9. 学級活動	7 (70.0%)
10. 特別活動	3 (30.0%)
11. その他	1 (10.0%)
無回答	1 (10.0%)
回答件数	10 (4.50)

10-1. 貴校では、食に関する指導として、どのような内容を取り扱っていますか。

（あてはまるもの全て）

1. 食の重要性（朝食の大切さ等）	9 (90.0%)
2. 心身の健康（栄養素、栄養バランス、体づくり等）	9 (90.0%)
3. 食品を選択する能力（食品衛生、食品ロス）	6 (60.0%)
4. 感謝の心	6 (60.0%)
5. 社会性（食事マナー等）	7 (70.0%)
6. 食文化（日本・世界の食文化、行事食）	7 (70.0%)
7. 地場産品、地産地消	7 (70.0%)
8. その他	0 (0.0%)
無回答	1 (10.0%)
回答件数	10 (5.20)

3. 調査結果とその検証結果 ⑧学校アンケート調査結果

【学校アンケート集計】(中学校) 5/6

- 1 1. 学校において食育（食に関する指導）を実施する場合に文部科学省が発行している食育用教材（小学生用食育協材「たのしい食事つなげる食育」（平成28年2月）、中学生用食育教材（令和3年3月））の活用に取り組んでいますか。

1. 取り組んでいる	6 (60.0%)
2. 取り組んでいない	3 (30.0%)
無回答	1 (10.0%)
合計	10 (100.0%)

- 1 2 - 1. 貴校では、栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導を行っていますか。

1. 栄養教諭が実施している	4 (40.0%)
2. 学校栄養職員が実施している	1 (10.0%)
3. 実施していない	4 (40.0%)
無回答	1 (10.0%)
回答件数	10 (1.00)

- 1 2 - 2. 貴校では、栄養教諭または学校栄養職員による食に関する指導は、いつ行っていますか。
（あてはまるもの全て）

1. 社会の授業	0 (0.0%)
2. 理科の授業	0 (0.0%)
3. 生活の授業	0 (0.0%)
4. 家庭、技術・家庭の授業	3 (30.0%)
5. 体育、保健体育の授業	1 (10.0%)
6. 道徳の授業	0 (0.0%)
7. 総合的な学習の時間	1 (10.0%)
8. 給食、昼食の時間	5 (50.0%)
9. 学級活動	3 (30.0%)
10. 特別活動	3 (30.0%)
11. その他	0 (0.0%)
無回答	5 (50.0%)
回答件数	10 (2.10)

【学校アンケート集計】(中学校) 6/6

- 1 3. 貴校では、保護者に対して、食に関する指導や食育に関する情報発信を行っていますか。

1. 月1回以上行っている	6 (60.0%)
2. 2～3カ月に1回程度行っている	0 (0.0%)
3. 学期に1回程度行っている	2 (20.0%)
4. 年に1回程度行っている	0 (0.0%)
5. 行っていない	1 (10.0%)
無回答	1 (10.0%)
合計	10 (100.0%)

- 1 4. 食育を推進する上で課題と感じるものはありますか。（あてはまるもの全て）

1. 学校の教育活動全体の中で食育に充てる時間がとれない	8 (80.0%)
2. 他の業務で忙しい	3 (30.0%)
3. 教職員の食育に対する意識が低い	1 (10.0%)
4. 食育をけん引できる人がいない	1 (10.0%)
5. 何をしたらいいかわからない	0 (0.0%)
6. 保護者や家庭との連携が難しい	3 (30.0%)
7. 特にない	2 (20.0%)
8. その他	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)
回答件数	10 (1.80)

3. 調査結果とその検証結果 ⑨調査結果 学校・教員アンケートと正答率の関係

学校・教員アンケートと正答率の関係を分析する。
 栄養教諭・学校栄養職員配置状況別、及び文部科学省食育教材の活用状況別に比較した。
 結果概要は、以下のとおり。

小学校		N	知識・技能	思考・判断・表現	「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価
栄養教諭・学校栄養職員の配置別	栄養教諭（本務校）	5	68.62%	65.38%	55.24%
	栄養教諭（兼務校・担当校）	5	67.76%	64.12%	51.74%
文部科学省食育教材活用別	取り組んでいる	4	62.50%	75.63%	56.27%
	取り組んでいない	5	62.98%	79.96%	58.91%
	無回答	1	69.70%	80.34%	58.97%

※
 「知識・技能」「思考・判断・表現」
 ……正答率

「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価
 ……「①～している」の回答率

中学校		N	知識・技能	思考・判断・表現	「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価
栄養教諭・学校栄養職員の配置別	栄養教諭（本務校）	5	64.72%	62.35%	65.28%
	栄養教諭・学校栄養職員（兼務校・担当校）	1	62.23%	52.96%	63.36%
	栄養教諭（兼務校・担当校）	2	65.90%	61.64%	62.28%
	学校栄養職員（本務校）	1	65.32%	58.72%	58.46%
	配置なし	1	61.85%	57.14%	58.33%
栄養教諭配置別	本務校 栄養教諭	5	64.17%	77.56%	59.54%
	兼務校 栄養教諭	3	63.10%	77.63%	56.75%
	栄養教諭 配置なし	2	61.32%	84.31%	53.92%
文部科学省食育教材活用別	取り組んでいる	6	65.58%	59.87%	62.68%
	取り組んでいない	3	63.27%	61.35%	64.03%
	無回答	1	61.50%	60.56%	62.91%

3. 調査結果とその検証結果 ⑩検証結果 テスト項目の妥当性について

テスト項目の妥当性についての検討を行う。各指標(正答率・無答率・選択率)、及び項目弁別力、内部一貫性、関連性について確認、検討した。結果は以下のとおり。

各指標の確認(正答率)

・正答率: 正答率は0.1～0.9の範囲にあることが望ましい

⇒ 小中ともに、食品ロスに関する質問の正答率がやや高い。

【 正 答 率 】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
小学校	66.86%	15.77%	73.14%	74.01%	50.80%	52.85%	74.01%	92.55%	79.85%	82.04%	89.93%	65.69%	80.00%	38.54%	-
中学校	83.16%	86.20%	61.73%	58.61%	51.05%	41.23%	86.05%	45.44%	88.85%	93.69%	39.44%	53.47%	56.12%	63.60%	44.82%

知識・技能	食品選択	8. 次の中から、食品ロスの説明として正しいものを選んでください。	①食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる	634	92.55%
			②食べ物がなくなってしまう	19	2.77%
			③自分の国で作られている食べ物が足りない	13	1.90%
			④食べたいと思う食べ物がいない	16	2.34%
			無回答	3	0.44%
			合計	685	100.00%

知識・技能	食品選択	10. 次の選択肢の中から、食品ロスの説明として正しいものを選んでください。	①食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる	1202	93.69%
			②食べ物がなくなってしまう	43	3.35%
			③自分の国で作られている食べ物が足りない	24	1.87%
			④食べたいと思う食べ物がいない	9	0.70%
			無回答	5	0.39%
			合計	1283	100.00%

【参考】名古屋大学 大学院教育発達科学研究科 心理発達科学専攻 石井研究室HP https://www.educa.nagoya-u.ac.jp/~ishii-h/test_bunseki.html

3. 調査結果とその検証結果 ⑩検証結果 テスト項目の妥当性について

(参考)正答率比較分析資料 正答率が低い項目 ー児童アンケートー

参考として、特に正答率が低かった(または「①～している」の回答が少なかった)質問項目について、児童アンケートにおいては以下のとおり。

【児童アンケート】

観点	知識・技能				「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価			
食育の視点	心身の健康	心身の健康	心身の健康	食文化	心身の健康	心身の健康	食品を選択する能力	社会性
設問	2. 次の中で「主にエネルギーのもとになる」、「主に体を作るもとになる」、「主に体の調子を整えるもとになる」食材が、すべてそろっているものを選んでください。	5. 次の中から、タンパク質の働きについて正しいものを選んでください。	6. 次のイラストの中から、主食を選んでください。	14. 次の中から、3月3日の「桃の節句」(ひな祭り)に食べる風習のないものを選んでください。	16. あなたは、量を決めておやつを食べるようにしていますか？	18. ふだんの食事では、エネルギーのもとになる食品(お米や油など)、体を作るもとになる食品(魚や肉など)、体の調子を整えるもとになる食品(野菜や果物など)を、バランスよく食べていますか。	19. 食事の前には、手洗いをしていますか。	20. 食事の時には、口に食べ物を入れたまま話をしないようにしていますか。
正答率	14.36%	50.86%	55.24%	38.42%	39.98%	45.58%	55.30%	44.30%

※

「知識・技能」「思考・判断・表現」……………正答率

「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価 ……「①～している」の回答率

3. 調査結果とその検証結果 ⑩検証結果 テスト項目の妥当性について

(参考)正答率比較分析資料 正答率が低い項目 ー生徒アンケートー

生徒アンケートは以下のとおり。

【生徒アンケート】

観点	知識・技能		思考・判断・表現	知識・技能		思考・判断・表現	知識・技能		「主体的に学習に取り組む態度」に関連した評価		
食育の視点	心身の健康	心身の健康	心身の健康	心身の健康	食事の重要性	食事の重要性	食文化	食文化	心身の健康	心身の健康	食品を選択する能力
中学校	4. 次の選択肢の中から、水分補給のタイミングとして誤っているものを選んでください。	5. 次のイラストの中から、主食を選んでください。	6. Aさんは、3つの食品群を参考に朝食のメニューを作成することにしました。次の3日間の朝食の内容を見て、バランスの良い食事にするにはそれぞれどんなメニューを追加すればよいか、①～④の組み合わせの中からを選んでください。	8. 筋肉を増やすために重要なことについて、次の選択肢の中から正しいものを選んでください。	11. サプリメントの使用法について、次の選択肢の中から誤っているものを選んでください。	12. Cさんは、ダイエットのために朝食を抜くことにしました。今後、Cさんの体に起こりうることを次の選択肢の中からを選んでください。	13. 次の説明文の中で、誤っているものを選んでください。	15. 世界全体で見ると、13億トンの食料が毎年捨てられています。これは、世界全体の食料生産量のどのくらいにあたるでしょうか。次の選択肢の中からを選んでください。	17. あなたは自分に必要な食事を考えて食事しようとしていますか？	19. ふだんの食事では、エネルギーのもとになる食品（お米や油など）、体を作るもとになる食品（魚や肉など）、体の調子を整えるもとになる食品（野菜や果物など）を、バランスよく食べようとしていますか。	20. 食事の前には、手洗いをするようにしていますか。
正答率	58.69%	52.30%	41.70%	45.78%	39.57%	53.52%	56.30%	44.36%	51.81%	50.63%	57.10%

※

「知識・技能」「思考・判断・表現」……………正答率

「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価 ……「①～している」の回答率

3. 調査結果とその検証結果 ⑩検証結果 テスト項目の妥当性について

各指標の確認(無答率)

- ・無答率: 無答率が大きい項目は問題あり。⇒ ほとんどの項目が無答率1%未満であり問題なし。
- ・特に無答率が高かった項目は、以下のとおり。
- 小学校の問11は、4つ選択する質問のため後半で無回答率が上がる。
4つ回答する必要があることを設問文に丁寧に記載する必要がある。(他の質問についても1つだけ選ぶことを明記)
- 中学校の問13は、他の質問と同様に「正しいもの」を選ぶようにする(正しいものを選ぶように統一する)。
同様の観点から、間違っているものを選ぶ質問は、全て正しいものを選ぶように統一する。

【小学校】

思考・判断・表現	食品選択	1 1. 給食を食べる前の手洗いの動作について、次のA～Dの正しい順番を、1番め～4番めで教えてください。	完全正解	616	89.93%
			不正解	37	5.40%
			無回答	32	4.67%
			合計	685	100.00%
		1 番目	無回答	9	1.31%
		2 番目	無回答	19	2.77%
		3 番目	無回答	22	3.21%
		4 番目	無回答	23	3.36%

【中学校】

知識・技能	食文化	1 3. 次の説明文の中で、誤っているものを選んでください。	①世界には、国によって多様な食文化がある	76	5.92%
			②日本には、国が定めた郷土料理・行事食がある	720	56.12%
			③世界には、宗教によって食べられない食品がある人がいる	102	7.95%
			④ベジタリアンなど、個人の考えによって食べる食品を選択する人がいる	357	27.83%
			無回答	28	2.18%
			合計	1283	100.00%

【参考】名古屋大学 大学院教育発達科学研究科 心理発達科学専攻 石井研究室HP https://www.educa.nagoya-u.ac.jp/~ishii-h/test_bunseki.html

3. 調査結果とその検証結果 ⑩検証結果 テスト項目の妥当性について

各指標の確認(選択率)

- ・選択率:ある誤答枝の選択率が、正答枝の選択率(すなわち正答率)を上回る場合は、設問に何らかの問題がある可能性がある。その場合は、項目弁別力も参照して、項目の検討を行う。
⇒ 以下の項目で選択枝の再検討の余地がある。

【小学校】

知識・技能	心身の健康	2. 次の中で「主にエネルギーのもとになる」、「主に体を作るもとになる」、「主に体の調子を整えるもとになる」食材が、すべてそろっているものを選んでください。	①ご飯、肉、じゃがいも	228	33.28%
			②たまご、牛乳、だいず	106	15.47%
			③パン、ハム、レタス	108	15.77%
			④ご飯、魚、ひじき	239	34.89%
			無回答	4	0.58%
			合計	685	100.00%
知識・技能	食文化	1 4. 次の中から、3月3日の「桃の節句」(ひな祭り)に食べる風習のないものを選んでください。	①ひなあられ	58	8.47%
			②七草がゆ	264	38.54%
			③はまぐりのうしおじる	299	43.65%
			④ちらしずし	62	9.05%
			無回答	2	0.29%
			合計	685	100.00%

【中学校】

思考・判断・表現	心身の健康	6. Aさんは、3つの食品群を参考に朝食のメニューを作成することにしました。次の3日間 朝食の内容を見て、バランスの良い食事にするにはそれぞれどんなメニューを追加すればよいか、①～④の組み合わせの中から選んでください。	①1日目：ソーセージ 2日目：れんこんのきんぴら 3日目：ヨーグルト	115	8.96%
			②1日目：チーズ 2日目：キノコのソテー 3日目：ゆで卵	38	2.96%
			③1日目：野菜スープ 2日目：卵焼き 3日目：ほうれんそうのおひたし	529	41.23%
			④1日目：トマトサラダ 2日目：焼魚 3日目：卵焼き	597	46.53%
			無回答	4	0.31%
			合計	1283	100.00%

3. 調査結果とその検証結果 ⑩検証結果 テスト項目の妥当性について

項目弁別力の検討

項目弁別力(テストの各項目が受検者の能力をどれくらい正確に捉えているか)を確認するため、全体成績別に各項目の正答率を確認した。

⇒ いずれの項目も成績上位者ほど正答率が高く、各項目とも能力を識別できているといえる。

小学校

	問 1	問2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問10	問11	問12	問13	問14
低 (～8問) (n=224)	52.2%	4.5%	47.3%	51.3%	25.0%	39.7%	51.8%	82.6%	61.2%	63.4%	78.6%	42.0%	55.8%	18.3%
中 (9～10問) (n=233)	69.1%	11.6%	79.4%	76.4%	47.2%	49.8%	76.0%	95.3%	83.7%	86.3%	92.3%	67.8%	87.6%	32.6%
高 (11問～) (n=228)	78.9%	31.1%	92.1%	93.9%	79.8%	68.9%	93.9%	99.6%	94.3%	96.1%	98.7%	86.8%	96.1%	64.5%

※いずれの項目も1%水準で有意

中学校

	問 1	問2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7	問 8	問 9	問10	問11	問12	問13	問14	問15
低 (～8問) (n=419)	73.5%	77.8%	32.0%	32.2%	28.6%	23.6%	69.9%	24.1%	74.2%	83.8%	18.9%	31.3%	29.4%	40.8%	30.8%
中 (9～10問) (n=401)	85.3%	83.8%	61.1%	54.4%	47.4%	39.7%	90.5%	44.4%	93.0%	97.8%	35.2%	52.6%	56.1%	62.1%	47.1%
高 (11問～) (n=463)	90.1%	95.9%	89.2%	86.2%	74.5%	58.5%	96.8%	65.7%	98.5%	99.1%	61.8%	74.3%	80.3%	85.5%	55.5%

※いずれの項目も1%水準で有意

3. 調査結果とその検証結果 ⑩検証結果 テスト項目の妥当性について

内部一貫性の検討

テストの各項目間にどの程度の一貫性があるかをKuder-Richardson 20.を用いて検証した(全体として同じ概念を測定しているといえるかどうかを表す指標)。結果は、以下のとおり。

一般的に0.7以上が内部一貫性があると判断され、以下の値では、テストの内部一貫性としては十分高いとはいえない。ただし、本テストは、6つの視点、2項目の視点から出題しており、内容も複数の科目領域をカバーする内容となっている。本評価方法で評価しようとしている範囲が、広い構成概念からなっているといえる。係数を高くすることを目的として修正や項目の追加を行うよりは、限られたテスト時間の中で幅広い分野を網羅して評価できることを優先すべきだと考えられる。

小学校	0.552
中学校	0.550

3. 調査結果とその検証結果 ⑩検証結果 テスト項目の妥当性について

(参考)『主体的に学習に取り組む態度』との関係

テストの点数と『主体的に学習に取り組む態度』に関連した評価項目に関係がみられるのかを確認した。結果は以下のとおり。

- ・「平日、毎日、朝ご飯を食べる」は、小中共に、点数が高いほど「している」割合が高い。おやつの量(小)、いただきますを言う(中)などは、統計的には有意ではないが、やや関係がみられた。
- ・他の項目は、関連性はみられなかった。

小学校

【「している」割合】

	感謝の心	心身の健康	食事の重要性	心身の健康	食品選択	社会性
	食事の前に「いただきます」を言う	量を決めておやつを食べる	平日、毎日、朝ご飯を食べる*	エネルギーのもとになる食品、体を作るもとになる食品、体の調子を整えるもとになる食品をバランスよく食べる	食事の前には、手洗いをする	口に食べ物を入れたまま話をしない
低(～8問) (n=224)	76.3%	36.6%	74.1%	40.2%	54.0%	39.7%
中(9～10問) (n=233)	82.8%	38.6%	82.0%	50.6%	56.2%	47.6%
高(11問～) (n=228)	78.9%	43.9%	89.9%	44.3%	56.1%	44.7%

中学校

	感謝の心	心身の健康	食事の重要性	心身の健康	食品選択	社会性
	食事の前に「いただきます」を言う	必要な食事量を考えて食事をする	平日、毎日、朝ご飯を食べる*	エネルギーのもとになる食品、体を作るもとになる食品、体の調子を整えるもとになる食品をバランスよく食べる	食事の前には、手洗いをする*	口に食べ物を入れたまま話をしない
低(～8問) (n=419)	76.1%	52.0%	71.1%	54.2%	61.8%	61.3%
中(9～10問) (n=401)	81.5%	52.9%	78.6%	50.4%	55.1%	59.4%
高(11問～) (n=463)	82.7%	51.2%	84.0%	48.6%	55.1%	61.1%

5%水準で有意な項目に*

3. 調査結果とその検証結果 ⑪検討事項 調査項目 修正検討案

修正検討案

⑩検証結果を踏まえて、各調査項目の修正検討案を作成し、有識者検討委員会にて議論を行った。
児童アンケートの議論の結果は、以下のとおり。

【児童アンケート】修正検討結果 1/2

理由	観点	修正前					修正案			
		食育の視点	設問	選択肢	n	回答率	食育の視点	設問	選択肢	備考
正答の選択率が低い	知識・技能	心身の健康	2. 次の中で「主にエネルギーのもとになる」、「主に体を作るもとになる」、「主に体の調子を整えるもとになる」食材が、すべてそろっているものを選んでください。	①ご飯、肉、じゃがいも	228	33.28%	心身の健康	2. 次の中で「主にエネルギーのもとになる」、「主に体を作るもとになる」、「主に体の調子を整えるもとになる」食材が、すべてそろっているものを選んでください。	①ご飯、肉、魚	※ひっかけ問題を1つにし（ひじき）、日本人になじみのある食材に変更
				②たまご、牛乳、だいず	106	15.47%			②たまご、牛乳、だいず	
				③パン、ハム、レタス	108	15.77%			③ご飯、たまご、ほうれんそう	
				④ご飯、魚、ひじき	239	34.89%			④ご飯、魚、ひじき	
				無回答	4	0.58%			無回答	
				合計	685	100.00%			合計	
正答率が高い	知識・技能	食品選択	8. 次の中から、食品ロスの説明として正しいものを選んでください。	①食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる	634	92.55%	食品選択	8. 次の中から、食品ロスの説明として正しいものを選んでください。	①お店やコンビニなどで、食べものが売れ残ってしまう	
				②食べ物がなくなってしまう	19	2.77%			②食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる	
				③自分の国で作られている食べ物が足りない	13	1.90%			③自分の国で作られている食べ物が足りない	
				④食べたいと思う食べ物が無い	16	2.34%			④食べたいと思う食べ物が無い	
				無回答	3	0.44%			無回答	
				合計	685	100.00%			合計	
正しくないものを選ぶ聞き方	思考・判断・表現	食品選択	9. 次の中から、食品ロスに対する取組について正しいものを選んでください。	①好き嫌いせずに残さず食べる	58	8.47%	食品選択	9. 次の中から、食品ロスに対する取組について正しいものを選んでください。	①料理が無駄にならないように美味しくするために大根やジャガイモなどの野菜の皮は厚めにむいて使った	※正しいものを選ぶように修正
				②まだ開けていないスナック菓子が賞味期限がギリギリだったので、仕方なく捨てた	547	79.85%			②まだ開けていないスナック菓子が賞味期限がギリギリだったので、仕方なく捨てた	
				③買い物に出かける前に、冷蔵庫の中に何があるか確認した	28	4.09%			③買い物に出かける前に、冷蔵庫の中に何があるか確認した	
				④コンビニで、消費期限の近いおにぎりを選んで買った	48	7.01%			④コンビニで消費期限の近いおにぎりをかうため、商品棚の一番奥から選んだ	
				無回答	4	0.58%			無回答	
				合計	685	100.00%			合計	
無答率が高い	思考・判断・表現	食品選択	11. 給食を食べる前の手洗いの動作について、次のA～Dの正しい順番を、1番め～4番めで教えてください。	完全正解	616	89.93%	心身の健康	11. 給食を食べる前の手洗いの動作について、次のA～Dの正しい順番を、1番め～4番めで教えてください。	①A.せっけんでよく洗う→B.ハンカチでふく→C.手に水をかけて、石けんをつける→D.石けんをよく洗い流す	※予め4つの順番を提示し、正しいものを選ぶように修正 食育の視点を修正
				不正解	37	5.40%			②B.ハンカチでふく→C.手に水をかけて、石けんをつける→A.せっけんでよく洗う→D.石けんをよく洗い流す	
				無回答	32	4.67%			③C.手に水をかけて、石けんをつける→A.せっけんでよく洗う→D.石けんをよく洗い流す→B.ハンカチでふく	
				合計	685	100.00%			④D.石けんをよく洗い流す→C.手に水をかけて、石けんをつける→B.ハンカチでふく→A.せっけんでよく洗う	

3. 調査結果とその検証結果 ①検討事項 調査項目 修正検討案

【児童アンケート】 修正検討結果 2/2

理由	観点	修正前					修正案				
		食育の視点	設問	選択肢	n	回答率	食育の視点	設問	選択肢	備考	
正しくないものを選ぶ聞き方	思考・判断・表現	食事の重要性	1 2. 朝ごはんをしっかり食べるために気をつけることとして、次の中から正しくないものを選んでください。	①朝早く起きるために夜ふかしをしない	76	11.09%	食事の重要性	1 2. 朝ごはんをしっかり食べるために気をつけることとして、次の中から正しいものを選んでください。	①朝早く起きるために夜ふかしをする	※正しいものを選ぶように修正	
				②バランスよく栄養素を摂取するため、ご飯とおみそしるなど2種類以上のものを食べる	76	11.09%			②朝早く起きて、時間にゆとりをもつ		
				③すいみん時間をしっかりとるために、なるべく遅く起きる	450	65.69%			③すいみん時間をしっかりとるために、なるべく遅く起きる		
				④消化が悪く朝の食欲が落ちるため、夕ごはんを夜おそくに食べない	79	11.53%			④夜中におなかがすかないように、夕ごはんを夜おそくに食べる		
				無回答	4	0.58%			無回答		
				合計	685	100.00%			合計		
正答の選択率が低い「はまぐりのうしおじる」がわからない	知識・技能	食文化	1 4. 次の中から、3月3日の「桃の節句」（ひな祭り）に食べる風習のないものを選んでください。	①ひなあられ	58	8.47%	食文化	1 4. 次の中から、3月3日の「桃の節句」（ひな祭り）に食べる風習のあるものを選んでください。 ※選択肢は、地域の食文化に応じて変更していただくようにする。	①かしわもち	※正しいものを選ぶように修正	
				②七草がゆ	264	38.54%			②七草がゆ		
				③はまぐりのうしおじる	299	43.65%			③おせち料理		
				④ちらしずし	62	9.05%			④ちらしずし		
				無回答	2	0.29%			無回答		
				合計	685	100.00%			合計		
委員会でのご指摘表現がわかりにくい	『主体的に学習に取り組む態度』に関連した評価	心身の健康	1 6. あなたは、量を決めておやつを食べるようにしていますか？	①している	272	39.71%	心身の健康	1 6. あなたは、おやつを食べるとき、量を決めていますか？	①している		
				②どちらかといえば、している	210	30.66%			②どちらかといえば、している		
				③あまりしていない	136	19.85%			③あまりしていない		
				④全くしていない	58	8.47%			④全くしていない		
				無回答	9	1.31%			無回答		
				合計	685	100.00%			合計		

3. 調査結果とその検証結果 ⑪検討事項 調査項目 修正検討案

生徒アンケートは、以下のとおり。

【生徒アンケート】 修正検討結果 1/2

理由	観点	修正前					修正案				
		食育の視点	設問	選択肢	n	回答率	食育の視点	設問	選択肢	備考	
誤っているものを選ぶ聞き方	知識・技能	心身の健康	3. 私たちは、体内における化学反応によって、生きるための主な原動力であるエネルギーを得ています。エネルギーが不足すると体や心に現れる影響として、次の選択肢の中から誤っているものを選んでください。	①免疫、消化器系、心臓・血管の機能低下	300	23.38%	心身の健康	3. 私たちは、体内における化学反応によって、生きるための主な原動力であるエネルギーを得ています。エネルギーが不足すると体や心に現れる影響として、次の選択肢の中から正しいものを選んでください。	①消化器系の機能が低下し、代謝が良くなる	※正しいものを選ぶように修正	
				②気持ちが落ち着き、精神的に安定する	792	61.73%			②気持ちが落ち着き、精神的に安定する		
				③発育期には、成長や発育に影響	135	10.52%			③発育期には、成長や発育に影響		
				④女性は無月経や初経の時期が遅れる	51	3.98%			④女性は初経の時期が早まる		
				無回答	5	0.39%			無回答		
				合計	1283	100.00%			合計		
誤っているものを選ぶ聞き方	知識・技能	心身の健康	4. 次の選択肢の中から、水分補給のタイミングとして誤っているものを選んでください。	①のどが乾いたら補給	752	58.61%	心身の健康	4. 次の選択肢の中から、水分補給のタイミングや方法として正しいものを選んでください。	①のどが乾いたら補給	※正しいものを選ぶように修正	
				②のどが乾かないように、定期的に補給	396	30.87%			②のどが乾かないように、定期的に補給		
				③運動中やその前後	40	3.12%			③汗をたくさんかいた後に水を一気に飲む		
				④寝る前や起きた時、入浴の前後	82	6.39%			④運動前にあらかじめ大量に飲む		
				無回答	13	1.01%			無回答		
				合計	1283	100.00%			合計		
正答の選択率が低い	思考・判断・表現	心身の健康	6. Aさんは、3つの食品群を参考に朝食のメニューを作成することにしました。次の3日間の朝食の内容を見て、バランスの良い食事にするにはそれぞれどんなメニューを追加すればよいか、①～④の組み合わせの中から選んでください。	①1日目：ソーセージ 2日目：れんこんのきんぴら 3日目：ヨーグルト	115	8.96%	心身の健康	6. Aさんは、3つの食品群を参考に朝食のメニューを作成することにしました。次の3日間の朝食の内容を見て、バランスの良い食事にするにはそれぞれどんなメニューを追加すればよいか、①～④の組み合わせの中から選んでください。	①1日目：ソーセージ 2日目：れんこんのきんぴら 3日目：ヨーグルト	※選択率は均衡しているの で、修正せずこのまにする	
				②1日目：チーズ 2日目：キノコのソテー 3日目：ゆで卵	38	2.96%			②1日目：チーズ 2日目：キノコのソテー 3日目：ゆで卵		
				③1日目：野菜スープ 2日目：卵焼き 3日目：ほうれんそうのおひたし	529	41.23%			③1日目：野菜スープ 2日目：卵焼き 3日目：ほうれんそうのおひたし		
				④1日目：トマトサラダ 2日目：焼魚 3日目：卵焼き	597	46.53%			④1日目：トマトサラダ 2日目：焼魚 3日目：卵焼き		
				無回答	4	0.31%			無回答		
				合計	1283	100.00%			合計		
正答率が高い	知識・技能	食品選択	10. 次の選択肢の中から、食品ロスの説明として正しいものを選んでください。	①食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる	1202	93.69%	食品選択	10. 次の選択肢の中から、食品ロスの説明として正しいものを選んでください。	①お店やコンビニなどで、食べものが売れ残ってしまう		
				②食べ物がなくなってしまう	43	3.35%			②食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる		
				③自分の国で作られている食べ物が足りない	24	1.87%			③自分の国で作られている食べ物が足りない		
				④食べたいと思う食べ物が無い	9	0.70%			④食べたいと思う食べ物が無い		
				無回答	5	0.39%			無回答		
				合計	1283	100.00%			合計		

3. 調査結果とその検証結果 ①検討事項 調査項目 修正検討案

【生徒アンケート】 修正検討結果 2/2

理由	観点	修正前					修正案			
		食育の 視点	設問	選択肢	n	回答率	食育の 視点	設問	選択肢	備考
誤っているもの を選ぶ聞き方	知識・技能	食事の 重要性	1 1. サプリメントの使用方法 について、次の選択肢の中 から誤っているものを選んでく ださい。	①高い効果が期待できるので、食事で必要な栄養素を摂取できていても、サ プリメントを使ってよい	506	39.44%	食事の 重要性	1 1. サプリメントの使用方法 について、次の選択肢の中か ら正しいものを選んでくださ い。	①高い効果が期待できるので、食事で必要な栄養素を摂取できていても、サ プリメントを使ってよい	※正しいものを 選ぶように修正
				②サプリメントを使う場合は自己判断せず、栄養教諭の先生に相談する	246	19.17%			②サプリメントは薬ではなく、栄養を補助する食品の一つであり、使用上健康 を害することはないので自己判断で使ってよい	
				③食事だけでは必要な量の栄養素を摂取できない時に、足りない分を補うた めに使う	321	25.02%			③食事だけでは必要な量の栄養素を摂取できない時に、足りない分を補うた めに使う	
				④胃腸が弱っていて、消化や吸収の機能が低下しているときに利用する	203	15.82%			④胃腸が弱っていて、消化や吸収の機能が低下しているときには利用しない	
				無回答	7	0.55%			無回答	
				合計	1283	100.00%			合計	
無答率が高い	知識・技能	食文化	1 3. 次の説明文の中で、 誤っているものを選んでくださ い。	①世界には、国によって多様な食文化がある	76	5.92%	食文化	1 3. 次の説明文の中で、 正しいものを選んでください。	①グローバル化が進んだので、国による食分野の違いはなくなった	※正しいものを 選ぶように修正
				②日本には、国が定めた郷土料理・行事食がある	720	56.12%			②日本には、国が定めた郷土料理・行事食がある	
				③世界には、宗教によって食べられない食品がある人がいる	102	7.95%			③世界には、宗教によって食べられない食品がある人がいる	
				④ベジタリアンなど、個人の考えによって食べる食品を選択する人がいる	357	27.83%			④ベジタリアンは、肉は食べずに野菜や魚だけを食べる人のことを言う	
				無回答	28	2.18%			無回答	
				合計	1283	100.00%			合計	

3. 調査結果とその検証結果 ⑪検討事項 調査項目 修正検討案

学校・教員アンケートの結果を踏まえ、有識者検討委員会にて議論を行った。主に、問9 食育推進の課題感の設問について議論が上がった。

委員からの意見は以下のとおり。

- ・ 「食育の推進」と聞いてもイメージできない可能性があるため、とらえ方のばらつきが出ないように、分かりやすくしたほうがよい。
- ・ 「時間がない」、「忙しい」といった選択肢は回答が集中してしまうため、削除したほうがよい。
- ・ 教員アンケートには、「教育課程に位置付けていない」(学校全体計画にないため取り組んでいない場合)などを選択肢に入れたほうがよい。
- ・ 教員アンケートには、「学校や栄養教諭が中心となって進めてほしい」という声が拾える選択肢があるとよい。

委員会での検討を行った検討結果は、以下のとおり。

【教員アンケート】 修正検討結果

修正前		
9. 食育を推進する上で課題とを感じるものはありますか。(あてはまるもの全て)		
1.学校の教育活動全体の中で食育に充てる時間がとれない	12 (52.2%)	18 (39.1%)
2.他の業務で忙しい(食育について考える時間がない)	7 (30.4%)	19 (41.3%)
3.相談をする相手がいない	1 (4.3%)	1 (2.2%)
4.何をしたらいいのかわからない	7 (30.4%)	9 (19.6%)
5.保護者や家庭との連携が難しい	10 (43.5%)	15 (32.6%)
6.特にない	1 (4.3%)	6 (13.0%)
7.その他	1 (4.3%)	3 (6.5%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)
回答件数	23 (1.70)	46 (1.54)

修正案	
9. 食に関する指導を行う 上で課題とを感じるものはありますか。(あてはまるもの全て)	
1.具体的に相談する 同僚・上司 がいない	
2. 指導方法 がわからない	
3.保護者や家庭との連携が難しい	
4.学校運営の中に食に関する指導を位置付けていない	
5.食に関する指導を中核となって進めてくれる教職員がいない	
6.特にない	
7.その他	

3. 調査結果とその検証結果 ⑪検討事項 調査項目 修正検討案

学校アンケート検討結果は、以下のとおり。

【学校アンケート】修正検討結果

修正前		
1 4. 食育を推進する上で課題と感じるものはありますか。（あてはまるもの全て）		
1.学校の教育活動全体の中で食育に充てる時間がとれない	6 (60.0%)	8 (80.0%)
2.他の業務で忙しい	5 (50.0%)	3 (30.0%)
3.教職員の食育に対する意識が低い	3 (30.0%)	1 (10.0%)
4.食育をけん引できる人がいない	2 (20.0%)	1 (10.0%)
5.何をしたらいいのかわからない	0 (0.0%)	0 (0.0%)
6.保護者や家庭との連携が難しい	4 (40.0%)	3 (30.0%)
7.特にない	0 (0.0%)	2 (20.0%)
8.その他	3 (30.0%)	0 (0.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)
回答件数	10 (2.30)	10 (1.80)

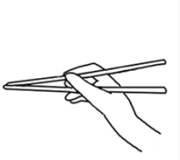
修正案	
1 4. 食に関する指導を行う 上で課題と感じるものはありますか。（あてはまるもの全て）	
1.教職員の食育に対する意識が低い	
2.食育を 担当 できる人がいない	
3. 指導方法 がわからない	
4.保護者や家庭との連携が難しい	
5.特にない	
6.その他	

4. 検証結果を踏まえた 最終版

4. 検証結果を踏まえた最終版 ①調査項目【児童アンケート】最終版

有識者検討委員会における議論を踏まえ、調査項目の最終版を作成した。
【児童アンケート】最終版は以下のとおり。

【児童アンケート】最終版 1/4

学習指導 要領(観点)	食育の 視点	問 No.	設問文	選択肢	解答・解説	教材 項目
知識・技能	社会性	1	次の写真を見て、はしの持ち方として正しいものを選んでください。	①  ②  ③  ④ 	② 	3
知識・技能	心身の健康	2	次の中で「主にエネルギーのもとになる」、「主に体を作るもとになる」、「主に体の調子を整えるもとになる」食材が、すべてそろっているものを選んでください。	① ご飯、肉、魚 ② たまご、牛乳、だいず ③ ご飯、たまご、ほうれんそう ④ ご飯、魚、ひじき	③ ご飯、たまご、ほうれんそう	15
知識・技能	心身の健康	3	次の中から、五大栄養素に含まれないものを選んでください。	① 脂質 ② 水 ③ 無機質 ④ ビタミン	② 水 ～五大栄養素とは～ ・炭水化物……おもにエネルギーになる働きがある。 ・脂質……おもにエネルギーになる働きがある。 ・たんぱく質……筋肉などの体をつくる働きがある。 ・無機質……おもに体の調子を整えたり、骨(ほね)や歯など体をつくったりする働きがある。 ・ビタミン……おもに体の調子を整える働きがある。	19
知識・技能	心身の健康	4	次の中から、タンパク質を多く含む食品を選んでください。	① ブロッコリー ② 肉・魚 ③ 果物 ④ 米	② 肉・魚	16
知識・技能	心身の健康	5	次の中から、タンパク質の働きについて正しいものを選んでください。	① 主に体の調子を整える ② 主にエネルギーになる ③ 筋肉などの体を作る ④ 骨(ほね)や歯などの体を作る	③ 筋肉などの体を作る	19

4. 検証結果を踏まえた最終版 ①調査項目【児童アンケート】最終版

【児童アンケート】最終版 2/4

学習指導要領(観点)	食育の視点	問No.	設問文	選択肢	解答・解説	教材項目
知識・技能	心身の健康	6	次のイラストの中から、主食を選んでください。	①ハンバーグ ②シチュー ③みそしる ④ごはん	④ごはん	20
知識・技能	心身の健康	7	口の中の病気を予防するためには、どのような食事の仕方がいいですか。次の中から、最も適切なものを選んでください。	①なるべく急いでご飯を食べる ②水をたくさん飲む ③たんぱく質や糖分を、たくさんとる ④だらだらとおやつを食べ続けない	④だらだらとおやつを食べ続けない	22
知識・技能	食品選択	8	次の中から、食品ロスの説明として正しいものを選んでください。	①お店やコンビニなどで、食べ物が売れ残ってしまう ②食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる ③自分の国で作られている食べ物が足りない ④食べたいと思う食べ物が無い	②食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる	21
思考・判断・表現	食品選択	9	次の中から、食品ロスに対する取組について正しいものを選んでください。	①料理が無駄にならないように美味しく作るために大根やジャガイモなどの野菜の皮は厚めにむいて使った ②まだ開けていないスナック菓子が賞味期限がギリギリだったので、仕方なく捨てた ③買い物に出かける前に、冷蔵庫の中に何があるか確認した ④コンビニで消費期限の近いおにぎりを買うため、商品棚の一番奥から選んだ	③買い物に出かける前に、冷蔵庫の中に何があるか確認した まだ食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられるものを「食品ロス」といいます。 ----- ◆消費期限…「安全に食べられる期限」 袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「安全に食べられる期限」のことです。 ◆賞味期限…「おいしく食べられる期限」 袋や容器を開けないままで、書かれた保存方法を守って保存していた場合に、この「年月日」まで、「品質が変わらずにおいしく食べられる期限」のことです。 この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるわけではありません。もし、賞味期限が過ぎた食品があったら、大人の方とそうなんしてから食べましょう。 出所：農林水産省HP「子どもの食育」 https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/kodomo_navi/featured/abc2.html	21
知識・技能	食品選択	10	次の中から、必ず冷蔵庫に保存すべきものを選んでください。	①干しシイタケ ②卵 ③ジャガイモ ④米	②卵	24

4. 検証結果を踏まえた最終版 ①調査項目【児童アンケート】最終版

【児童アンケート】最終版 3/4

学習指導 要領(観点)	食育の 視点	問 No.	設問文	選択肢	解答・解説	教材 項目
思考・判断・ 表現	心身の健康	11	給食を食べる前の手洗いの動作について、次のA～Dの順番として正しいものを選んでください。     出所: 文部科学省 小学生用食育教材「たのしい食事つながる食育」(平成28年2月) 児童用(低学年)	①A. せっけんでよく洗う→B. ハンカチでふく→C. 手に水をかけて、石けんをつける→D. 石けんをよく洗い流す ②B. ハンカチでふく→C. 手に水をかけて、石けんをつける→A. せっけんでよく洗う→D. 石けんをよく洗い流す ③C. 手に水をかけて、石けんをつける→A. せっけんでよく洗う→D. 石けんをよく洗い流す→B. ハンカチでふく ④D. 石けんをよく洗い流す→C. 手に水をかけて、石けんをつける→B. ハンカチでふく→A. せっけんでよく洗う	③C. 手に水をかけて、石けんをつける→A. せっけんでよく洗う→D. 石けんをよく洗い流す→B. ハンカチでふく     出所: 文部科学省 小学生用食育教材「たのしい食事つながる食育」(平成28年2月) 児童用(低学年) P.1 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/eiyou/syokuseikatsu.htm	1
思考・判断・ 表現	食事の重要性	12	朝ごはんをしっかりと食べるために気をつけることとして、次の中から正しいものを選んでください。	①朝早く起きるために夜ふかしをする ②朝早起きして、時間にゆとりをもつ ③すいみん時間をしっかりとるために、なるべく遅く起きる ④夜中におなかがすかないように、夕ごはんを夜おそくに食べる	②早おきして、時間にゆとりをもつ 起きてすぐは、体はまだ眠っています。朝ごはんを食べると、栄養分が体に行きわたって、眠っている間に下がっていた体温が上がり始め、体は目覚めます。 朝ごはんを食べるためには、早起きして、時間にゆとりを持つことです。夜遅くまで起きていると、朝起きられなくなり、朝ごはんが食べられません。早寝・早起きの習慣を身に付け、朝ごはんをしっかりと食べて元気に過ごしましょう。	6、14
知識・技能	食文化	13	次の中から、日本の食事に欠かせない大豆から作られている調味料を選んでください。	①しょうゆ ②塩 ③こしょう ④ソース	①しょうゆ	25
知識・技能	食文化	14	次の中から、3月3日の「桃の節句」(ひな祭り)に食べる風習のあるものを選んでください。 選択肢は、貴地域の食文化に応じて適宜、変更してください。	①かしわもち ②七草がゆ ③おせち料理 ④ちらしずし	④ちらしずし 3月3日の「桃の節句」(ひな祭り)には、ひな人形を飾り、ひし餅やひなあられ、はまぐりのうしお汁、ちらしずしなどを食べる風習があります。	8

4. 検証結果を踏まえた最終版 ①調査項目【児童アンケート】最終版

【児童アンケート】最終版 4/4

学習指導 要領(観点)	食育の 視点	問 No.	設問文	選択肢	教材 項目
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	感謝の心	15	あなたは、いつも食事の前に「いただきます」を言うようにしていますか？	①している	4
				②どちらかといえば、している	
				③あまりしていない	
				④全くしていない	
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	心身の健康	16	あなたは、おやつを食べるとき、量を決めていますか？	①量を決めている	22
				②どちらかといえば、量を決めている	
				③あまり量を決めていない	
				④全く量を決めていない	
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	食事の重要性	17	あなたは平日、毎日、朝ご飯を食べるようにしていますか？	①毎日(5日)食べるようにしている	23
				②3～4日は食べるようにしている	
				③1～2日は食べるようにしている	
				④していない	
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	心身の健康	18	ふだんの食事では、エネルギーのもとになる食品(お米や油など)、体を作るもとになる食品(魚や肉など)、体の調子を整えるもとになる食品(野菜や果物など)を、バランスよく食べようとしていますか。	①している	19
				②どちらかといえば、している	
				③あまりしていない	
				④全くしていない	
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	心身の健康	19	食事の前には、手洗いをするようにしていますか。	①している	1
				②どちらかといえば、している	
				③あまりしていない	
				④全くしていない	
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	社会性	20	食事の時には、口に食べ物を入れたまま話をしないようにしていますか。	①している	13
				②どちらかといえば、している	
				③あまりしていない	
				④全くしていない	

4. 検証結果を踏まえた最終版 ②調査項目【生徒アンケート】最終版

【生徒アンケート】最終版は以下のとおり。

【生徒アンケート】最終版 1/4

学習指導 要領(観点)	食育の 視点	問 No.	設問文	選択肢	解答・解説	教材 項目
知識・技能	社会性	1	次の選択肢の中から、配ぜんの仕方として正しいものを選んでください。	①  ②  ③  ④ 	①  出所: 文部科学省 中学生用食育教材(令和3年3月)「4. 1日に何を食えばいいの?」 P.9~10 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/eiyou/1288146.htm	4
知識・技能	心身の健康	2	栄養素には、体にたくさん蓄えることができないものもあります。それらをきちんと取るようにするには、どうしたらよいですか。次の選択肢の中から、正しいものを選んでください。	①定期的に食べる ②毎食、多めに食事をする ③蓄えられない栄養素のサプリを毎日飲む ④食材を生そのまま食べる	①定期的に食べる	1
知識・技能	心身の健康	3	私たちは、体内における化学反応によって、生きるための主な原動力であるエネルギーを得ています。エネルギーが不足すると体や心に現れる影響として、次の選択肢の中から正しいものを選んでください。	①消化器系の機能が低下し、代謝が良くなる ②気持ちが落ち着き、精神的に安定する ③発育期には、成長や発育に影響 ④女性は初経の時期が早まる	③発育期には、成長や発育に影響	3
知識・技能	心身の健康	4	次の選択肢の中から、水分補給のタイミングや方法として正しいものを選んでください。	①のどが乾いたら補給 ②のどが乾かないように、定期的に補給 ③汗をたくさんかいた後に水を一気に飲む ④運動前にあらかじめ大量に飲む	②のどが乾かないように、定期的に補給 水分補給のポイントはのどが渴かないように定期的に水分を補給することです。	6
知識・技能	心身の健康	5	次のイラストの中から、主食を選んでください。	①ハンバーグ ②シチュー ③みそしる ④ラーメン	④ラーメン	小学校 20

4. 検証結果を踏まえた最終版 ②調査項目【生徒アンケート】最終版

【生徒アンケート】最終版 2/4

学習指導 要領(観点)	食育の 視点	問 No.	設問文	選択肢	解答・解説	教材 項目
思考・判断・ 表現	心身の健康	6	Aさんは、3つの食品群を参考に朝食のメニューを作成することにしました。次の3日間の朝食の内容を見て、バランスの良い食事にするにはそれぞれどんなメニューを追加すればよいか、①～④の組み合わせの中から選んでください。 Aさんの朝食メニュー 1日目：パン、目玉焼き、ベーコン 2日目：ごはん、玉ねぎとじゃがいものみそ汁、漬物 3日目：ごはん、豆腐のみそ汁、納豆	①1日目：ソーセージ 2日目：れんこんのきんぴら 3日目：ヨーグルト ②1日目：チーズ 2日目：キノコのソテー 3日目：ゆで卵 ③1日目：野菜スープ 2日目：卵焼き 3日目：ほうれんそうのおひたし ④1日目：トマトサラダ 2日目：焼魚 3日目：卵焼き	③1日目：野菜スープ 2日目：卵焼き 3日目：ほうれんそうのおひたし	2
思考・判断・ 表現	心身の健康	7	Bさんは夕食のとり方について考えています。Bさんは夜遅くまで塾に通っているの、自宅に帰ったあと眠くなってしまい、食事をとらずに就寝する日もありました。体重が減ってしまったので、できるだけ自分のライフスタイルに合わせながら十分なエネルギーがとれる食事方法を考えています。Bさんのライフスタイルに合わせた工夫として、適切なものはどれですか。次の選択肢の中から選んでください。	①夕食を分割してたべるため、塾の前に夕食の一部を間食しておき、塾から帰った後に残りを食べる ②十分なエネルギーをとりたいため、塾の後に睡眠時間を削って夕食を食べる ③1日に必要な食量量を取りたいため、夕食をとらずに朝食と昼食を1.5倍食べる ④十分なエネルギーをとりたいため、塾の前にお菓子をたくさん食べる	①夕食を分割してたべるため、塾の前に夕食の一部を間食しておき、塾から帰った後に残りを食べる。	8
知識・技能	心身の健康	8	筋肉を増やすために重要なことについて、次の選択肢の中から正しいものを選んでください。	①毎日、高い強度のトレーニングを長時間行う ②たんぱく質だけをたくさん摂取する ③適度な睡眠をとる ④たくさん食べて体を大きくする	③適度な睡眠をとる	9
知識・技能	食品選択	9	次の選択肢の中から、肉を調理して食べる際の心がけとして正しいものを選んでください。	①洗い物を減らすため、生肉をつまむはしと焼いたお肉をつまむはしは、同じものを使う ②生肉を切る包丁と、野菜を切る包丁は分ける ③焼いて調理した肉と野菜は、同じ皿には配ぜんしない ④豚肉はよく焼いて食べるが、牛肉や鶏肉はよく焼かないで食べてもいい	②生肉を切る包丁と、野菜を切る包丁は分ける	11
知識・技能	食品選択	10	次の選択肢の中から、食品ロスの説明として正しいものを選んでください。	①お店やコンビニなどで、食べものが売れ残ってしまう ②食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる ③自分の国で作られている食べ物が足りない ④食べたいと思う食べ物が無い	②食べられるのに、期限切れや食べ残しなどで捨てられる	12

4. 検証結果を踏まえた最終版 ②調査項目【生徒アンケート】最終版

【生徒アンケート】最終版 3/4

学習指導 要領(観点)	食育の 視点	問 No.	設問文	選択肢	解答・解説	教材 項目
知識・技能	食事の重要性	11	サプリメントの使用法について、次の選択肢の中から正しいものを選んでください。	①高い効果が期待できるので、食事で必要な栄養素を摂取できていても、サプリメントを使ってよい ②サプリメントは薬ではなく、栄養を補助する食品の一つであり、使用上健康を害することはないので自己判断で使ってよい ③食事だけでは必要な量の栄養素を摂取できない時に、足りない分を補うために使う ④胃腸が弱っていて、消化や吸収の機能が低下しているときには利用しない	③食事だけでは必要な量の栄養素を摂取できない時に、足りない分を補うために使う たくさん摂取すれば、体に良い効果があるわけではありません。必要以上に摂取した場合は、過剰摂取が問題になることもあります。必要量以上の栄養素が入ってきたときには、使わなかった栄養素を別の物質に加工したり、排泄したりしなくてはならないため、肝臓などの臓器に負担がかかります。 特に成長期に当たる小・中・高校生は、運動量が多い状態であったとしても、サプリメントの利用を控えることが望まれます。その理由としては、サプリメントを利用しなくては動くことができないような運動量が、発育・発達に支障をきたすからです。つまり、サプリメントには頼らず、食事と補食からエネルギーや栄養素を必要量摂取することのできる運動量にとどめる必要があります。 サプリメントを利用する際には、食事からの栄養素の摂取量を把握した上で、足りなかった栄養素の種類と補う量を決めることが必要です。	3
思考・判断・ 表現	食事の重要性	12	Cさんは、ダイエットのために朝食を抜くことにしました。今後、Cさんの体に起こりうることを次の選択肢の中から選んでください。	①睡眠でエネルギーが蓄えられていたので、活発に動けた ②排便リズムがぐずれ、便秘になりやすくなった ③アミノ酸が体内に作られ、良質な睡眠をとれるようになった ④体温が上昇し、午前中に充実した活動ができなかった	②排便リズムがぐずれ、便秘になりやすくなった	5
知識・技能	食文化	13	次の説明文の中で、正しいものを選んでください。	①グローバル化が進んだので、国による食文化の違いはなくなった ②日本には、国が定めた郷土料理・行事食がある ③世界には、宗教によって食べられない食品がある人がいる ④ベジタリアンは、肉は食べずに野菜や魚だけを食べる人のことを言う	③世界には、宗教によって食べられない食品がある人がいる	12
知識・技能	食文化	14	以下の写真の料理に関する行事を、選択肢の中から選んでください。  出所：農林水産省HP「子どもの食育」「行事食(ぎょうじしょく)」は特別なときの料理	①正月 ②土用の丑の日 ③端午の節句 ④冬至	④冬至 一年でもっとも夜が長い冬至の日に、かぼちゃを食べると風邪をひかないといわれています。 出所：農林水産省HP「子どもの食育」「行事食(ぎょうじしょく)」は特別なときの料理 https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/kodomo/navi/learn/event.html	12
知識・技能	食文化	15	世界全体で見ると、13億トンの食料が毎年捨てられています。これは、世界全体の食料生産量のどのくらいにあたるでしょうか。次の選択肢の中から選んでください。	①1/10 ②1/5 ③1/3 ④1/2	③1/3	13

4. 検証結果を踏まえた最終版 ②調査項目【生徒アンケート】最終版

【生徒アンケート】最終版 4/4

学習指導 要領(観点)	食育の 視点	問 No.	設問文	選択肢	教材 項目
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	感謝の心	16	あなたは、いつも食事の前に「いただきます」を言うようにしていますか？	①している	小 学 校 4
				②どちらかといえば、している	
				③あまりしていない	
				④全くしていない	
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	心身の健康	17	あなたは自分に必要な食事量を考えて食事をしようとしていますか？	①している	7
				②どちらかといえば、している	
				③あまりしていない	
				④全くしていない	
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	食事の重要性	18	あなたは平日、毎日、朝ご飯を食べるようにしていますか？	①毎日(5日)食べるようにしている	5
				②3～4日は食べるようにしている	
				③1～2日は食べるようにしている	
				④していない	
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	心身の健康	19	ふだんの食事では、エネルギーのもとになる食品(お米や油など)、 体を作るもとになる食品(魚や肉など)、体の調子を整えるもとになる食品(野菜や果物など)を、バランスよく食べようとしていますか。	①している	2
				②どちらかといえば、している	
				③あまりしていない	
				④全くしていない	
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	心身の健康	20	食事の前には、手洗いをするようにしていますか。	①している	11
				②どちらかといえば、している	
				③あまりしていない	
				④全くしていない	
「主体的に 学習に取り 組む態度」 と関連した 評価	社会性	21	食事の時には、口に食べ物を入れたまま話をしないようにしていますか。	①している	小 学 校 13
				②どちらかといえば、している	
				③あまりしていない	
				④全くしていない	

4. 検証結果を踏まえた最終版 ③調査項目【教員アンケート】最終版

【教員アンケート】最終版は以下のとおり。

【教員アンケート】最終版 1/2

最終版		
No.	設問	選択肢等
1	学校名をお答えください。	
2	クラス(組)をお答えください。	
3	何分ほどで全児童・生徒の回答が完了したかご記入ください。 (アンケート所要時間は、30分を目安としております)	
4	児童・生徒から、アンケートに関する質問はありましたか。	①はい ②いいえ
5	(問4の質問で、「①はい」と回答した場合) 具体的な質問内容をご記入ください。	
6	その他、アンケートについて気が付いたこと、ご助言等がございましたら、ご記入ください。	
7	あなたは、今年度、食に関する指導を実施しましたか。	①実施した ②今後、実施する予定 ③実施しておらず、する予定もない
8	(以降、問8～問13は、問7の質問で、食に関する指導を「①実施した」「②今後、実施する予定」と回答した場合のみご回答ください。「③実施しておらず、する予定もない」と回答した場合は、問14に進んでください。) あなたは、食に関する指導を実施した(実施する予定の)教科・活動等は何ですか。(あてはまるもの全て)	①社会の授業 ②理科の授業 ③生活の授業 ④家庭、技術・家庭の授業 ⑤体育、保健体育の授業 ⑥道徳の授業 ⑦総合的な学習の時間 ⑧給食、昼食の時間 ⑨学級活動、特別活動 ⑩その他

※属性質問については、各自治体の状況に合わせ、適宜編集するものとする。

4. 検証結果を踏まえた最終版 ③調査項目【教員アンケート】最終版

【教員アンケート】最終版 2/2

最終版		
No.	設問	選択肢等
9	あなたは、文部科学省が発行している食育教材(小学生用食育教材「たのしい食事つながる食育」(平成28年2月)、中学生用食育教材(令和3年3月))を活用したことはありますか。(あてはまるものの全て)	①教科等の授業で活用した(総合的な学習の時間や特別活動含む) ②給食時間(昼食時間)で活用した ③上記①②以外の活動で活用した ④活用していない ⑤わからない
10	問9で①と回答した方は、具体的な活用内容をご記入ください。	
11	問9で②と回答した方は、具体的な活用内容をご記入ください。	
12	問9で③と回答した方は、具体的な活用内容をご記入ください。	
13	問9で、「④活用していない」と回答した方は、文部科学省が発行している食育教材を活用していない理由をお答えください。	
14	あなたは、給食時間(昼食時間)やその他の時間(授業以外)に児童生徒に「食」に関する話をしたり、声かけをしたりしていますか。	①よくしている ②どちらかというとしている ③どちらかというとしていない ④していない
15	食に関する指導を行う上で課題とを感じるものはありますか。(あてはまるものの全て)	①具体的に相談する同僚・上司がいない ②指導方法がわからない ③保護者や家庭との連携が難しい ④学校運営の中に食に関する指導を位置づけていない ⑤食に関する指導を中核となって進めてくれる教職員がいない ⑥特にな ⑦その他

4. 検証結果を踏まえた最終版 ④調査項目【学校アンケート】最終版

【学校アンケート】最終版は以下のとおり。

【学校アンケート】最終版 1/3

最終版		
No.	設問	選択肢等
1	学校名をお答えください。	
2	あなたの学校には、栄養教諭、または学校栄養職員は配置されていますか。	①本務校として栄養教諭が配置されている ②本務校として学校栄養職員が配置されている ③本務校以外の兼務校または担当校として栄養教諭が配置されている ④本務校以外の兼務校または担当校として学校栄養職員が配置されている ⑤配置されていない ⑥その他
3	あなたの学校には、栄養教諭または学校栄養職員は月に何日程度来ますか(来ない場合は0を入力)。	(月●●日程度)
4	貴校では、食に関する指導を実施していますか。	①実施している ②実施していない
5	(問4の質問で、食に関する指導を「②実施していない」と回答した場合)実施していない理由をお答えください。	
6	(以降、問6～問17は、問4の質問で、食に関する指導を「①実施している」と回答した場合のみご回答ください。「②実施していない」と回答した場合は、問18に進んでください。) 貴校では、食育(食に関する指導)を推進する組織等を設置していますか。	①設置している ②設置していない
7	貴校では、食育(食に関する指導)を推進する担当者を設置していますか。	①設置している ②設置していない

※属性質問については、各自治体の状況に合わせ、適宜編集するものとする。

4. 検証結果を踏まえた最終版 ④調査項目【学校アンケート】最終版

【学校アンケート】最終版 2/3

最終版		
No.	設問	選択肢等
8	「各教科等」において、食に関する指導は、年間でどの程度行われていますか。	(●●時間)
9	「給食時間」において、食に関する指導は、年間でどの程度行われていますか。	(●●時間)
10	貴校では、食に関する指導は、どの場面で行っていますか。(あてはまるもの全て)	①社会の授業 ②理科の授業 ③生活の授業 ④家庭、技術・家庭の授業 ⑤体育、保健体育の授業 ⑥道徳の授業 ⑦総合的な学習の時間 ⑧給食、昼食の時間 ⑨学級活動 ⑩特別活動(学級活動を除く) ⑪その他
11	貴校では、食に関する指導として、どのような内容を取り扱っていますか。(あてはまるもの全て)	①食の重要性(朝食の大切さ等) ②心身の健康(栄養素、栄養バランス、体づくり等) ③食品を選択する能力(食品衛生、食品ロス) ④感謝の心 ⑤社会性(食事マナー等) ⑥食文化(日本・世界の食文化、行事食) ⑦地場産品、地産地消 ⑧その他
12	地場産品、地産地消に関する取組について、具体的な内容をご記入ください。	
13	学校において食育(食に関する指導)を実施する場合に文部科学省が発行している食育教材(小学生用食育教材「たのしい食事つながる食育」(平成28年2月)、中学生用食育教材(令和3年3月))の活用に取り組んでいますか。	①取り組んでいる ②取り組んでいない

4. 検証結果を踏まえた最終版 ④調査項目【学校アンケート】最終版

【学校アンケート】最終版 3/3

最終版		
No.	設問	選択肢等
14	前の質問で、文部科学省が発行している食育教材の活用について「②取り組んでいない」と回答した場合、活用していない理由をお答えください。	
15	貴校では、栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導を行っていますか。	①栄養教諭が実施している ②学校栄養職員が実施している ③実施していない
16	貴校では、栄養教諭または学校栄養職員による食に関する指導は、いつ行っていますか。(あてはまるもの全て)	①社会の授業 ②理科の授業 ③生活の授業 ④家庭、技術・家庭の授業 ⑤体育、保健体育の授業 ⑥道徳の授業 ⑦総合的な学習の時間 ⑧給食、昼食の時間 ⑨学級活動 ⑩特別活動 ⑪その他
17	貴校では、保護者に対して、食に関する指導や食育に関する情報発信を行っていますか。	①月1回以上行っている ②2～3カ月に1回程度行っている ③学期に1回程度行っている ④年に1回程度行っている ⑤行っていない
18	食に関する指導を行う上で課題とを感じるものはありますか。(あてはまるもの全て)	①教職員の食育に対する意識が低い ②食育を担当できる人がいない ③指導方法がわからない ④保護者や家庭との連携が難しい ⑤特にない ⑥その他

4. 検証結果を踏まえた最終版 ⑤調査項目【栄養教諭アンケート】追加

今年度の試行調査結果、及び有識者検討委員会における議論を踏まえ、栄養教諭アンケート調査が別途必要であると判断し、作成した。調査項目は以下のとおり。

【栄養教諭アンケート】 1/2

No.	設問	選択肢等
1	学校名をお答えください。	
2	役職をお答えください。	①栄養教諭(本務校) ②学校栄養職員(本務校) ③栄養教諭(兼務校または担当校) ④学校栄養職員(兼務校または担当校)
3	月に何日程度、学校を訪問していますか(来ない場合は0を入力)。	(月●●日程度)
4	貴校では、食に関する指導として、どのような内容を取り扱っていますか。(あてはまるもの全て)	①食の重要性(朝食の大切さ等) ②心身の健康(栄養素、栄養バランス、体づくり等) ③食品を選択する能力(食品衛生、食品ロス) ④感謝の心 ⑤社会性(食事マナー等) ⑥食文化(日本・世界の食文化、行事食) ⑦地場産品、地産地消 ⑧その他
5	学校において食育(食に関する指導)を実施する場合に文部科学省が発行している食育教材(小学生用食育教材「たのしい食事つながる食育」(平成28年2月)、中学生用食育教材(令和3年3月))の活用に取り組んでいますか。	①取り組んでいる ②取り組んでいない
6	前の質問で、文部科学省が発行している食育教材の活用について「②取り組んでいない」と回答した場合、活用していない理由をお答えください。	

4. 検証結果を踏まえた最終版 ⑤調査項目【栄養教諭アンケート】追加

【栄養教諭アンケート】 2/2

No.	設問	選択肢等
7	貴校では、栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導を行っていますか。	①栄養教諭が実施している ②学校栄養職員が実施している ③実施していない
8	貴校では、栄養教諭または学校栄養職員による食に関する指導は、いつ行っていますか。(あてはまるもの全て)	①社会の授業 ②理科の授業 ③生活の授業 ④家庭、技術・家庭の授業 ⑤体育、保健体育の授業 ⑥道徳の授業 ⑦総合的な学習の時間 ⑧給食、昼食の時間 ⑨学級活動 ⑩特別活動(学級活動を除く) ⑪その他
9	貴校では、保護者に対して、食に関する指導や食育に関する情報発信を行っていますか。	①月1回以上行っている ②2～3カ月に1回程度行っている ③学期に1回程度行っている ④年に1回程度行っている ⑤行っていない
10	食に関する指導を行う上で課題と感じるものはありますか。(あてはまるもの全て)	①教職員の食育に対する意識が低い ②食育を担当できる人がいない ③指導方法がわからない ④保護者や家庭との連携が難しい ⑤特にない ⑥その他

4. 検証結果を踏まえた最終版 ⑥概要資料の作成

概要資料作成の目的

完成した食評価手法を普及するための概要資料を作成した。概要資料は、教育委員会用(教育委員会等管理機関に対して食評価手法の目的、概要、使い方等を説明)と、学校使用説明資料(学校等の食評価手法使用者に対して食評価手法の目的、概要、内容、使い方等を詳細に説明)の2種類を作成した。

概要資料、及び使用説明資料は、令和8年度以降に公表予定である。この資料は、児童生徒が、食に関する正しい理解や適切な判断力、望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校において食育を更に充実していくために、今回作成した食に関する指導の評価項目・評価指標・評価方法等の「食評価手法」を広く普及することを目的としている。都道府県教育委員会、市町村教育委員会で、概要資料、及び使用説明資料の評価項目を活用し、学校に展開していただくことを想定している。

なお、「食評価手法」は、児童生徒一人一人の個別的な評価を目的とするものではなく、学校における食育の取組全体の評価をみるものである。

4. 検証結果を踏まえた最終版 ⑦～教育委員会向け概要資料～

完成した食評価手法を普及するための概要資料を作成した。
教育委員会向け概要資料は、以下のとおり。

教育委員会向け概要資料 1/3

食に関する指導の 評価手法について

～教育委員会向け概要資料～



目次

1. 概要	1
(1) はじめに	1
(2) 「食に関する指導の評価手法」の考え方	1
(3) 「食に関する指導の評価手法」の活用イメージ	1
2. 評価規準	2
(1) 評価の枠組み	2
(2) 評価項目	2
3. 評価の測定方法(例)	3
(1) 児童・生徒に対する調査	3
(2) 学校・栄養教諭・教員アンケート	4
4. 試験調査の問題について	5
5. 調査終了後	6
(1) 結果の取りまとめ方	6
(2) 結果の活用	7
6. 【別添】参考資料について	8

文部科学省総合教育政策局健康教育・食育課
令和8年3月

1. 概要

(1) はじめに

社会環境が大きく変化し、児童生徒が健全な食生活を実践することが困難な場面が増え、食物アレルギーや偏食等、食に関する健康上の課題が多様化している状況にあっては、児童生徒が食に関する健康上の課題に興味・関心を持ち、課題を自分事として捉え、解決していくこととする食の自己管理能力を育むことが重要である。

そのため、児童生徒が食に関する正しい理解や適切な判断力、望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校において食育を更に充実していく必要があります。

文部科学省では、各教育委員会・学校が、学校現場の実態に即した現実的かつ持続可能な評価を行えるように「食に関する指導の評価手法(以下、食評価手法)」を開発しました。

教育委員会における「食に関する指導」の振興策の検討や学校現場での食に関する指導の改善など、様々な場面で本食評価手法を御活用ください。

(2) 「食に関する指導の評価手法」の考え方

- 文部科学省において全国的に統一的な評価ツールとして本食評価手法を作成しました。この食評価手法を用いて全国の教育委員会、あるいは学校が主体的に評価活動を行うことを想定しています。
- 本食評価手法は、学校現場における「食に関する指導」の質の更なる向上を目的としており、児童生徒個人の評価を測るものではありません。

(3) 「食に関する指導の評価手法」の活用イメージ

学校における児童生徒への食に関する指導の充実や改善等に役立てると共に、食に関する指導の継続的な検証改善サイクルを確立する。

- 都道府県・市町村の「食に関する指導」についての振興策の検討材料とする。
- 学校現場で、食に関する指導を PDCA サイクルで取り組むための基礎資料とする。
- 栄養教諭の食に関する指導の効果を「見える化」するためのツールとして活用する。

例

- 教育委員会等の給食部会において、年間の活動の評価ツールとして活用する
- 学校で食に関する指導の全体計画を作成するための、基礎となるエビデンスとして使用

2. 評価規準

(1) 評価の枠組み

- 評価を実施するにあたり、教育現場で行っている「学習指導要領」に示されている各教科の目標や内容に基づいた学習状況の評価する学習評価の基本的な考え方を踏まえた枠組みとする。具体的には、各教科における観点別学習状況の評価の3観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を軸に評価項目を設定した。なお、「主体的に学習に取り組む態度」については、そのものを測定することは難しいことから、「『主体的に学習に取り組む態度』に関連した評価」として位置付けて整理している。

- 食に関する指導の考え方については、文部科学省「食に関する指導の手引－第二次改訂版－」をベースとする。特に【食育の視点(6つ)】を評価項目の枠組みとする。

▼枠組みのイメージ

食育の視点	食育の重要性	心身の健康	食品を選択する能力	感謝の心	社会性	食文化
(観点) 学習態度等						
知識・技能						
思考・判断・表現						
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価						

(2) 評価項目

文部科学省教材(小学生用食育教材「たのしい食事つなぐ食育」(平成28年2月)、中学生用食育教材(令和3年3月))での指導内容を踏まえて、食育の視点に対応した評価項目を以下のように定めた。

食育の視点	対応する評価項目 <小学校>	対応する評価項目 <中学校>
【食育の重要性】	・ 朝食の大切さ、必要性	・ 食事に栄養補給 ・ 朝食の大切さ
【心身の健康】	・ 3つの食品群 ・ 五大栄養素、栄養バランス ・ 食事と健康	・ 体づくり ・ 必要な心身の健康 ・ 栄養バランス、栄養素 ・ 食事と健康
【食品を選択する能力】	・ 食品ロス ・ 食品衛生	・ 食品ロス ・ 食品衛生
【感謝の心】	・ 感謝の心(行動)	・ 感謝の心(行動)
【社会性】	・ 食事マナー	・ 食事マナー
【食文化】	・ 日本の食文化 ・ 行事食への関心	・ 世界の食文化 ・ 日本の食文化 ・ 世界の食事情

◎小学生用:文部科学省食育教材「たのしい食事つなぐ食育」(平成28年2月)

◎中学生用:文部科学省食育教材(令和3年3月)及び(令和6年度改訂版)

4. 検証結果を踏まえた最終版 ⑦～教育委員会向け概要資料～

教育委員会向け概要資料 2/3

3. 評価の測定方法(例)

(1) 児童・生徒に対する調査

以下を実施し、食育の視点ごとの達成状況を把握する。

対象 小学校第6学年、中学校第3学年

方法 アンケート形式

(Microsoft Forms、Google フォームなど Web アンケートの使用を想定)
-担任等の先生がいる状態で、教室等において一斉に実施(朝の会、HR などを利用)
-教科書や WEB サイトなど資料をみない状態での回答

内容 ①「知識・技能」、「思考・判断・表現」に関する試験調査

出題範囲は、調査する学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、前頁の評価項目にあわせて出題をする。

②「『主体的に学習に取り組む態度』に関連した評価」に関する質問紙調査

前頁の評価項目に関して、食に対する興味・関心や、食に関する指導の実践状況、食に関する生活習慣などを把握する。

調査問題(アンケート)では、上記①と②を一体的に問うこととする。

時間 ①②あわせて 30 分(学校の裁量で短くすることは可能)

▼問題例(標準問題を、※調査票例は、別添の参考資料に掲載)



3

(2) 学校・栄養教諭・教員アンケート

栄養教諭員の配置や、教科や給食の時間等における食の指導の状況等、児童生徒の調査結果との結び付きが強いと考えられる内容について、それらを把握するとともにその相関関係等を分析することで、食に関する指導の改善に結びつけることができる。

これらを踏まえ、学校(管理職)、栄養教諭、教員(担任)を対象とした質問紙調査を同時に実施することで、評価結果の活用場面が広がる。

学校・教員アンケートの実施方法(例)として、以下があげられる。

学校アンケート/栄養教諭アンケート(例)	
対象	管理職、栄養教諭
方法	質問紙調査(Microsoft Forms、Google フォームなど Web アンケートの使用を想定)
内容	・ 栄養教諭・学校栄養職員員の配置状況(学校が把握しているかどうかの確認) ・ 栄養教諭・学校栄養職員員の訪問頻度★ ・ 食に関する指導実施の有無、指導の頻度 ・ 食に関する指導を推進する組織等設置の有無、および担当の有無 ・ 食に関する指導実施場面(教科・活動等) ・ 食に関する指導にて取り扱っている内容、文部科学省発行の食育用教材の活用の有無★ ・ 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導実施の有無・指導場面(教科・活動等)★ ・ 保護者に対する、食に関する指導の情報発信の有無★ ・ 食に関する指導を推進する上での課題★

★は、学校/栄養教諭の両方のアンケートの質問。無印は学校アンケートのみ

※調査票例は、別添の参考資料を参照のこと。

教員アンケート(例)	
対象	児童生徒調査を実施した学級の担任
方法	質問紙調査(Microsoft Forms、Google フォームなど Web アンケートの使用を想定)
内容	・ 児童・生徒アンケート実施日時 ・ 全児童・生徒のアンケート回答所要時間 ・ 児童・生徒からの、アンケートに関する質問の有無、およびその内容 ・ 今年度の食に関する指導実施(予定含む)の有無、およびその教科・活動等 ・ 文部科学省発行の食育用教材の活用の有無 ・ 給食(昼食)時間やその他の時間(授業以外)での、児童・生徒への「食」に関する話・声かけの有無 ・ 食に関する指導を推進する上での課題

※調査票例は、別添の参考資料を参照のこと。

4

4. 試験調査の問題について

参考資料に児童アンケート設問例、生徒アンケート設問例として標準問題を掲載している。今後、各自治体や学校で評価を行うためのツールとして活用いただくことを想定している。

各教育委員会・学校において、必要に応じて新たな質問を作成いただき評価項目を追加・修正いただくことも可能である。

作問作成の考え方を以下に示す。

作成の考え方

- 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点、「食に関する指導の手引」第二次改訂版(平成31年3月)に示されている「食育の視点」6項目を評価の項目の枠組みとし、文部科学省教材をベースに作成する(P2参照)。
- 単一回答の設問とし、選択肢は4つとする。
- ひっかけ問題でなく、何を問われているかが明確、かつ単純な文章の設問にする。
- 「思考・判断・表現」の設問は、選択肢で思考・判断・表現を問うため、4択それぞれの選択肢の文章中に複数の要素を入れ、思考・判断が必要となるよう留意し作成する。(例)事例に対して場面や状況を示し、「適切なものを選択」、もしくは「課題を選択」、「組合せ・順番を考える」、等
- 「主体的に学習に取り組む態度」に関する質問は、行動ではなく態度を測る。そのため、事象に対して「行う意思」があるかどうかを問う内容とする。
- 学校現場の負担にならないよう問題数を増やしすぎないようにする(現在の質問での児童生徒の平均回答時間は10分程度)。朝の会、HRなどでの実施が可能な分量とする。

5

4. 検証結果を踏まえた最終版 ⑦～教育委員会向け概要資料～

教育委員会向け概要資料 3/3

5. 調査終了後

(1) 結果の取りまとめ方

- 調査結果は、全体値及び学校別等の正答率・正答率(態度に関する質問は「している」割合)をとりまとめる。
- さらに、3観点・6つの視点を踏まえた評価マトリクスに整理し、学校全体・地域全体としての食に関する指導の成果や課題等を分析する。
- 学校ごとに正答率に大きく差がある項目については、質問紙調査の項目とのクロス集計を行うなど、その要因と考えられる項目との相関を分析する。
- 教育委員会が実施した場合は、上記で作成した表の全体値、学校平均値を、各学校に配布することが望ましい。

▼エクセルで取りまとめるときの例

		〇〇県 全体値		〇〇小学校	
(観点)	学習指導要領	食育の観点	質問	回答割合	回答割合
知識・技能	社会性	1. 給食の時間のときに必要なことで、当てはまらないものを選んでください。	①みんなで準備する	16.39%	11.46%
			②休み時間に向けた準備もする	47.54%	42.04%
			③みんなで楽しく食べる	29.51%	36.31%
			④みんなで片づける	4.92%	8.28%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	感謝の心	2. あなたは、いつも食事の前で「いただきます」を言っていますか。	①必ず言っている	83.61%	80.25%
			②だいたい言っている	6.56%	9.55%
			③あまり言っていない	4.92%	5.10%
			④言っていない	3.28%	4.46%
知識・技能	心身の健康	3. 次の中から、「主に関心のある食べ物」を選んでください。	①ごはん	26.23%	12.10%
			②お肉	4.92%	13.38%
			③くだもの	57.38%	64.33%
			④牛乳	9.84%	9.55%
知識・技能	心身の健康	4. 次の中から、いも・かぼちゃ・たまねぎの保存場所として正しいものを選んでください。	①冷蔵庫	1.64%	0.64%
			②冷凍庫	26.23%	12.10%
			③常温	3.28%	3.18%
			④冷凍庫	0.00%	1.27%
思考・判断・表現	心身の健康	5. 給食を食べる前の手洗いの動作について、次のA～Dのうち、正しいものを1つ選んでください。	①手洗いの場所	93.44%	92.36%
			②手洗いの回数	1.64%	1.27%
			③手洗いの時間	3.28%	3.18%
			④手洗いの場所・回数・時間	0.00%	1.27%

▼評価マトリクス整理イメージ

	食育の観点	食育の重要性	心身の健康	食品を選択する能力	感謝の心	社会性	食文化
(観点) 学習指導要領	正答率 平均値 (計)	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%
知識・技能	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%
思考・判断・表現	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%

(2) 結果の活用

例えば、以下のような活用方法が想定される。

教育委員会

域内の食に関する指導の改善に向けた取組を推進

例

- 栄養教諭の配置等の推進・工夫
- 地産地消に関する指導との連携
- 食に関する指導教材の改善のための資料の作成
- 保護者や地域と連携した取組
- 特に効果の大きかった取組についての横展開
- 特に相関の大きかった項目についての環境整備推進
- あまり効果の見られなかった取組についての見直し推進

など

学校

各学校の課題に応じた食に関する指導の改善に向けた取組を推進

例

- ①食に関する指導の善.....
 - 食育の観点別の結果を踏まえた食に関する指導の取組改善・校内研修
 - 食習慣に関する保護者への働きかけ
 - 給食の時間における指導の充実
- ②全体計画の改善.....
 - 全体計画の「食育推進の評価」欄のデータのエビデンス取得のために本食評価手法を活用し、成果を数値で表す
- ③研修や保護者への周知など周辺での活用.....
 - 学年全体、クラス単位での集団の課題・つまづきを特定し、研修等の資料にする
 - 食習慣に関する保護者への働きかけの資料に活用する

6. 【別添】参考資料について

教育委員会用

- 【別添①】 評価マトリクスシート
- 【別添②】 児童アンケート設問例テンプレート
- 【別添③】 生徒アンケート設問例テンプレート
- 【別添④】 学校アンケート設問例テンプレート
- 【別添⑤】 栄養教諭アンケート設問例テンプレート
- 【別添⑥】 教員アンケート設問例テンプレート
- 【別添⑦～⑫】Microsoft Forms マニュアル、及びクイックインポート用フォーマット 5種
- 【別添⑬～⑰】各アンケート＜見本＞pdf 5種

学校配布用

- 【学校用別添①】 食に関する指導の評価実施について(仮題)～学校向け説明資料～
- 【学校用別添②】 児童アンケート解説
- 【学校用別添③】 生徒アンケート解説

4. 検証結果を踏まえた最終版 ⑧～学校向け説明資料～

学校向け説明資料は、以下のとおり。

学校向け説明資料 1/3

文部科学省

食に関する指導の
評価実施について
～学校向け説明資料～

目次

1. 概要

(1) はじめに

社会環境が大きく変化し、児童生徒が健全な食生活を実践することが困難な場面が増え、食物アレルギーや偏食等、食に関する健康上の課題が多様化している状況にあつては、児童生徒が食に関する健康上の課題に興味・関心を持ち、課題を自分ごととして捉え、解決していくことの食の自己管理能力を育むことが重要です。

そのため、児童生徒が食に関する正しい理解や適切な判断力、望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校において食育を更に充実していく必要があります。

文部科学省では、これまでの指導資料において、食に関する指導に関する評価項目例を示してきたところですが、各教育委員会・学校が、学校現場の実態に即したより実践的な評価を行えるよう、実際に評価を行う際に活用しやすいツールとして「食に関する指導の評価手法(以下、食評価手法)」を開発しました。

教育委員会における「食に関する指導」の振興策の検討や、学校現場での食に関する指導の改善など、様々な場面で食評価手法を御活用ください。

(2) 「食に関する指導の評価手法」の位置付け

●「食に関する指導」の取組について、文部科学省において統一的な評価ツールとして本食評価手法を作成しました。この食評価手法は、教育委員会と学校が協力の上、主体的な評価活動に活用していただくことを想定しています。

●本食評価手法は、学校現場における「食に関する指導」を効果的に進めていくためのものであり、児童生徒一人一人の成績評価を行うためのものではありません。

(3) 「食に関する指導の評価手法」の活用イメージ

学校における児童生徒への食に関する指導について、継続的に振り返りと改善を行うためのサイクルを確立することを目的とする。

●栄養教諭の食に関する指導の効果を「見える化」するためのツールとして活用する。

●学校現場で、食に関する指導の現状や課題を整理し、今後の指導の充実に向けた検討材料とする。

●学校現場で、食に関する指導に係るPDCAサイクルに取り組むための基礎資料とする。

例

・学校で食に関する指導の全体計画を作成するための、基礎となる上ビデンスとして使用する

・学校評価における食育の評価指標として活用する

・栄養教諭が中心となり、校内における食に関する指導について、年間の実践を振り返るための評価ツールとして活用する

・保護者等に対して、食に関する指導の成果を分かりやすく示すデータとして活用する

2. 評価規準

(1) 評価の枠組み

評価を実施するに当たり、学習指導要領に示されている各教科の目標や内容に基づいた学習状況を評価する、学習評価の基本的な考え方を踏まえた枠組みとする。具体的には、各教科における観点別学習状況の評価の3観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を軸に評価項目を設定した。なお、「主体的に学習に取り組む態度」については、そのものを測定することは難しいことから、「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価として位置付けて整理している。

食に関する指導の目標については、文部科学省「食に関する指導の手引－第二次改訂版－」をベースとする。特に【食育の視点(6つ)】を評価項目の枠組みとする。

▼枠組みのイメージ

食育の視点 (観点) 学習指導要領	食事の重要性	心身の健康	食品を選択する 能力	感謝の心	社会性	食文化
知識・技能						
思考・判断・表現						
「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価						

(2) 評価項目

文部科学省教材(小学生用食育教材「たのしい食事つながる食育」(平成28年2月)、中学生用食育教材(令和3年3月))での指導内容を踏まえて、食育の視点に対応した評価項目を以下のように定めた。

食育の視点	対応する評価項目<小学校>	対応する評価項目<中学校>
【食事の重要性】	・朝食の大切さ、必要性	・食事と栄養補給 ・朝食の大切さ
【心身の健康】	・3つの食品群 ・五大栄養素、栄養バランス ・食事と健康	・休みの ・必要な心身の健康 ・栄養バランス、栄養素 ・食事と健康
【食品を選択する能力】	・食品の正 ・食品衛生	・食品の正 ・食品衛生
【感謝の心】	・感謝の心(行動)	・感謝の心(行動)
【社会性】	・食マナー	・食マナー
【食文化】	・日本の食文化 ・行事食への関心	・世界の食文化 ・日本の食文化 ・世界の食事情

②小学生用:文部科学省食育教材「たのしい食事つながる食育」(平成28年2月)

③中学生用:文部科学省食育教材(令和3年3月)及び(令和6年度改訂版)

101

4. 検証結果を踏まえた最終版 ⑧～学校向け説明資料～

学校向け説明資料 2/3

3. 評価の測定方法(例)

(1) 児童・生徒に対する調査

以下を実施し、食育の視点ごとの達成状況を把握する。

- 対象** 小学校第6学年、中学校第3学年
- 方法** Web アンケート形式
-担任等の教員が立会いのもと、教室等において一斉に実施する(朝の会、学級活動、HR 等を利用)
-回答に当たっては、教科書や Web サイト等の資料を見ずに行うものとする
- 内容** ①「知識・技能」、「思考・判断・表現」に関する試験調査
②「主体的に学習に取り組む態度」と関連した評価」に関する質問紙調査
調査問題(アンケート)では、上記①と②を一体的に問うこととする。
- 時間** ①②あわせて 30 分(学校の数量で短くすることは可能)

▼問題例



3

(2) 学校・栄養教諭・教員アンケート

栄養教諭等の配置や、教科や給食の時間等における食に関する指導の状況等、児童生徒に対する調査の結果との結び付きが強いと考えられる内容について、それらの状況を把握するとともに、その相関関係等を分析することで、食に関する指導の改善に結び付けることができる。

このため、学校(管理職)、栄養教諭、教員(担任)を対象とした質問紙調査を児童生徒に対する調査と並行して実施することで、評価結果の活用場面が広がる。

以下を実施し、学校や栄養教諭、及び教員の取組状況を把握する。

学校アンケート/栄養教諭アンケート

- 対象** 管理職、栄養教諭
- 方法** Web アンケート形式(質問紙調査)
- 内容** ・栄養教諭・学校栄養職員の配置状況(学校が把握しているかどうかの確認)
・栄養教諭・学校栄養職員の訪問頻度★
・食に関する指導実施の有無、指導の頻度
・食に関する指導を推進する組織等設置の有無、及び担当者の有無
・食に関する指導実施場面(教科・活動等)
・食に関する指導にて取り扱っている内容、文部科学省発行の食育用教材の活用の有無★
・栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導実施の有無・指導場面(教科・活動等)★
・保護者に対する、食に関する指導の情報発信の有無★
・食に関する指導を推進する上での課題★
★は、学校/栄養教諭の両方のアンケートの質問。無印は学校アンケートのみ

教員アンケート

- 対象** 児童生徒調査を実施した学級の担任
- 方法** Web アンケート形式(質問紙調査)
- 内容** ・児童生徒アンケートの実施日時及び所要時間
・アンケート実施時に児童生徒から出た質問
・当該年度における食に関する指導の実施状況(予定を含む)
・文部科学省作成の食育教材の活用状況
・給食時間や日常の学校生活における、食に関する声かけや指導の状況
・食に関する指導を進める上での課題

4

4. (各教育委員会記載欄)

(1) (各教育委員会記載欄)

タイトルなどを適宜ご入力ください。

(各教育委員会記載欄)

貴自治体の実施の流れなどを記載してください。

5

4. 検証結果を踏まえた最終版 ⑧～学校向け説明資料～

学校向け説明資料 3/3

5. 調査終了後

(1) 結果の取りまとめ

(貴自治体の取りまとめ例や説明などを記載してください。)

<以下、イメージ(貴自治体の状況にあわせて変更してください)>
調査実施後、学校に以下の調査結果を提供します。食育の視点、3つの観点のどこが強い、どこが苦手を把握して、今後の食に関する指導の改善に役立ててください。

▼正答率シート

(観点) 学習指導要領	食育の視点	説明	〇〇県 全体値		〇〇小学校	
			回答総数	0:06:10	0:06:07	0:06:07
知識・技能	社会性	1. 給食の時間のときに必要なことで、 当(は)まらないものを認(め)てください。	①みんなで作(つく)る	16.39%	11.46%	
			②休み時間に向けた準備もする	47.54%	42.04%	
			③みんなで作(つく)る	29.51%	36.31%	
			④みんなで作(つく)る	4.92%	8.28%	
			無回答	1.64%	1.91%	
『主体的に 学習に取り組 む態度』と関連 した評価	精神的・心 身の健康	2. あなたは、いつも食事の前(まえ)にいた だきます(を)言(い)っていますか。	①必ず言(い)っている	83.61%	80.25%	
			②たいてい言(い)っている	6.56%	9.55%	
			③あまり言(い)っていない	4.92%	5.10%	
			④言(い)っていない	3.28%	4.46%	
			無回答	1.64%	0.64%	
知識・技能	心身の健康	3. 次の中から、『主(し)体の調子(てうし)を整(ととの)え るもの』となる食品(しんぷく)を選(えら)んでください。	①ごはん	26.23%	12.10%	
			②たまご	4.92%	13.38%	
			③はくさい	57.38%	64.33%	
			④牛乳(ぎゅうにゅう)	9.84%	9.55%	
			無回答	1.64%	0.64%	
知識・技能	心身の健康	4. 次の中から、いも・かぼちゃ・たまねぎ の保存場所(ぼぜんばうしよ)として正(ただ)しいものを選(えら)んでく ださい。	①冷蔵庫	93.44%	92.36%	
			②野菜室(やさいむろ)	1.64%	1.27%	
			③冷凍室(れんどうむろ)	3.28%	3.18%	
			④冷凍庫(れんどうこ)	0.00%	1.27%	
			無回答	1.64%	1.91%	
思考・判断・表現 力(りき)	心身の健康	5. 給食を食(た)べる前(まえ)の手洗(てうぎ)いの動作(どうさ)に ついて、次のA～Dの正(ただ)しい順番(ついで)を、1番(ばん)から選(えら)んでください。	完全正解(てんぜんせいけい)	83.61%	80.25%	
			無回答	6.56%	9.55%	

▼評価マトリクス

	食育の視点	食育の重要性	心身の健康	食品を摂取する能力	感謝の心	社会性	食文化
(観点) 学習指導要領	正答率 平均値 (計)	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%
知識・技能	〇〇%		〇〇%	〇〇%		〇〇%	〇〇%
思考・判断・表現	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%			
『主体的に学習に取り組む態度』と関連した評価	〇〇%	〇〇%	〇〇%		〇〇%	〇〇%	

(2) 結果の活用

例えば、以下のような活用方法が想定される。

各学校の課題に応じた食に関する指導の改善に向けた取組を推進

- 例
- ①食に関する指導の改善.....
 - ・食育の視点別の結果を踏まえた食に関する指導の取組改善・校内研修
 - ・給食の時間における指導の充実
 - ②全体計画の改善.....
 - ・全体計画の「食育推進の評価」欄のデータのエビデンス取得のために本食評価手法を活用し、成果を数値で表す
 - ③研修や保護者への周知など周辺での活用.....
 - ・学年全体、クラス単位での集団の課題・つまづきを特定し、研修等の資料にする
 - ・食習慣に関する保護者への働きかけの資料に活用する

6. 参考資料

- ◎小学生用食育教材「たのしい食事つながる食育」(平成28年2月)
- ◎中学生用食育教材(令和3年3月)及び(令和6年度改訂)
- ◎食に関する指導の手引－第二次改訂版－(平成31年3月)

文部科学省総合教育政策局健康教育・食育課
令和8年3月

有識者検討委員会

令和7年度「食に関する指導の評価の在り方」に関する調査研究 有識者検討委員

◎敬称略、五十音順

清久 利和	兵庫県たつの市立小宅小学校 校長
鈴木 志保子	神奈川県立保健福祉大学大学院 保健福祉学研究科 研究科長 教授
樋口 善之	福岡教育大学 教育学部 保健体育研究ユニット 准教授
前島 光	日本女子体育大学 体育学部 健康スポーツ学科 教授
横嶋 剛	日本女子体育大学 体育学部 スポーツ科学科 教授

以下の日程で委員会を開催した。

日程	開催日	開催方法	テーマ
第1回	令和7年8月27日(2回) 令和7年8月28日(1回)	オンライン会議 (委員のスケジュールの 関係で3回に分けて開催)	● 事業内容の確認 ● アンケート調査項目 修正案について
第2回	令和7年11月19日	オンライン会議	● 試行調査結果の報告 ● 食評価手法のあり方について
第3回	令和8年1月8日	オンライン会議	● 調査項目の妥当性の検討 ● 評価項目(テスト項目)の修正の検討 ● 教育委員会向け説明資料案について ● 学校向け説明資料案について
第4回	令和8年2月17～3月2日	メール審議	● 教育委員会向け説明資料 最終確認 ● 学校向け説明資料 最終確認